

鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備） 工事

図 面 リ ス ト

図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺
L - 1	表紙・図面リスト	NO SCALE
特 - E1	電気設備工事詳細仕様書（1）	NO SCALE
特 - E2	電気設備工事詳細仕様書（2）	NO SCALE
E - 01	配置図・案内図	S=1／1000
E - 02	構内配電線路（1）（改修後）	S=1／500
E - 03	構内配電線路（1）（改修前）	S=1／500
E - 04	構内配電線路（2）（改修後）	S=1／500
E - 05	構内配電線路（2）（改修前）	S=1／500
E - 06	構内配電線路（3）（改修前・後）	S=1／500
E - 07	構内通信線路（1）（改修後）	S=1／500
E - 08	構内通信線路（1）（改修前）	S=1／500
E - 09	構内通信線路（2）（改修後）	S=1／500
E - 10	構内通信線路（2）（改修前）	S=1／500
E - 11	排水処理施設（西） 平面図	S=1／50
E - 12	排水処理施設（東） 平面図	S=1／50
E - 13	電子情報工学科棟 受変電設備単線結線図	NO SCALE
E - 14	（施設） 分電盤図・取付等参考図	NO SCALE
E - 15	構内配電線路 系統図	NO SCALE
E - 16	構内通信線路 系統図	NO SCALE
E - 17	各棟平面図・断面図	S=1／200

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校					図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備） 工事	表紙・図面リスト	-	株式会社 ミューバート 名古屋熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 楠田 亮	事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	L-1

鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事

I 工 事 概 要

1. 工事場所 三重県鈴鹿市白子町（鈴鹿工業高等専門学校構内）

2. 完成期限 令和 3 年 3 月 1 8 日（木曜日）

3. 建物概要

建 物 名 称	脱水焼却炉棟	西機械室	東機械室	
工 種	とりこわし (※6施工)	とりこわし (※6施工)	とりこわし (※6施工)	
構 造	S	R	R	
階 数	1	1	1	
建築基準法による	建築面積 (㎡)	5 0	2 5	2 0
	延べ面積 (㎡)	5 0	2 5	2 0
消防法施行令別表第一の区分				
改 修 面 積 (㎡)				
備 考				

4. 工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

建物別及び屋外	工 事 種 別			
工 事 種 目	脱水焼却炉棟	西機械室	東機械室	屋外
●電灯設備	撤去一式	撤去一式	撤去一式	
●動力設備	撤去一式	撤去一式	撤去一式	
○電気自動車用充電設備				
○電熱設備				
○雷保護設備				
○受変電設備				
○電力貯蔵設備				
○発電設備				
○構内情報通信網設備				
○構内交換設備				
○情報表示設備				
○映像・音響設備				
○拡声設備				
○誘導支援設備				
○テレビ共同受信設備				
○監視カメラ設備				
○駐車場管制設備				
○防犯・入退室管理設備				
○火災報知設備				
○中央監視制御設備				
●構内配電線路				一式
●構内通信線路				一式
●発生材処理			一式	

5. 指定部分 ●無 ○有 対象部分（指定部分工期 年 月 日）

6. 概成工期 ○無 ●有 令和 3 年 2 月 2 5 日（木曜日）（第1編1.1.2）、[第1編1.1.2]

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

（1）独立行政法人国立高等専門学校機構が定める工事請負契約基準、現場説明書、図面 枚及び本特記仕様書 2 枚によるほか、●印の付いたものを適用する。

●公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) (平成31年版) (以下「標準仕様書」という。)

●公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) (平成31年版) (以下「改修標準仕様書」という。)

●公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) (平成31年版) (以下「標準図」という。)

●文部科学省電気設備工事標準仕様書(特記基準) (平成31年版) (以下「文科仕様書」という。)

●文部科学省電気設備工事標準図(特記基準) (平成31年版) (以下「文科標準図」という。)

●工事写真撮影要領(令和元年7月)

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

なお、機械設備工事の特記仕様書は（ ）図、建築工事の特記仕様書は（ ）図による。

2. 特記仕様

（1）本特記仕様書の表記

1）項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

2）項目に記載の（第 編 ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

3）項目に記載の〔第 編 ）内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4）項目に記載の〈第 編 ）内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

項 目

●環境への配慮（第1編1.4.1）[第1編1.4.1]

（1）本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びブスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

（3）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

○機材の品質等（第1編1.4.2）[第1編1.4.2]

（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

（2）下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。

① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。

② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

③ 安定的な供給が可能であること。

④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

○再使用機材 [第1編1.4.3]

機 材 名

項 目

●機材の検査等機材の検査に伴う試験（第1編1.4.4～5）[第1編1.4.5～6]

監督職員の行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。

機 材 名	検 査 試 験	摘 要
分 電 盤	●	搬入時外観検査

●施工調査 [第1編1.5.1～3]

事前調査（●本工事 ○別途）

調査項目（○既存資料調査 ○）

調査範囲（○図示 ○）

調査方法（○図示 ○）

○施工の検査等施工の検査に伴う試験施工の立会い等（第1編1.5.3～5）[第1編1.6.4～6]

下記の施工部分は監督職員の施工の検査、施工の立会及び施工検査に伴う試験を受けるものとする。

施 工 部 分

年度

設計年月

設計業務名

令和元

令和2年7月

鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務

工事名称

図面名称

縮尺

建築士法第20条第1項に基づく表示

電気設備工事特記仕様書（1）

S= N・S (A1)
S= N・S (A3)

株式会社 ミューバートナース
名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-984(代)
FAX 052-684-984(代)
一級建築士 第242551号 植田 亮

独立行政法人 国立高等専門学校機構
鈴 鹿 工 業 高 専 学 校

事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当

特-E1

項目

特記事項

○耐震措置

設備機器の固定は、次によるほか、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。
(1) 設計用水平地震力
機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合は、設計用標準水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

機 器 種 別		○ 特定の施設		○ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上 及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1 階を除く各階で上層階に該当しないもの
・水槽類には燃料小出槽を含む。
・重要機器は次のものを示す。
○配電盤 ○発電装置（防災用） ○直流電源装置
○交流無停電電源装置 ○交換機 ○自動火災報知受信機
○中央監視装置 ○ ○

(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

項目

特記事項

●電線・ケーブル等の規格

(第2編1.1.1)
(第6編1.1.1)
[第2編1.2.1]

●電線保護物の規格

(第2編1.2.1～10)
(第6編1.2.1～3)

○ケーブルの
端末処理等

(第2編2.1.1)
[第2編2.1.2]

●金属管の塗装
及び仕上げ

(第1編2.7.1)
[第1編2.8.1]

●既存躯体への
穿孔

[第1編2.11.1～5]

○電気工事士

最大電力500[kW] 以上の場合においても、電気工事士法（昭和35年法律第139号）に基づく有資格者により施工を行う。

○仮設備工事

[第1編2.14.1～3]

○フラッシュ
プレート

フラッシュプレートは、図面に特記なき場合、
(○金属製（ステンレス、新金属を含む） ○樹脂製)とする。

●機器取付高さ

図面に特記なき場合は、表－1「機器標準取付高さ」による。

○接地極

図面に特記なき場合は、表－2「接地極一覧表」による。

○他工事又は
他工種との
取り合い

図面に特記なき場合は、工事区分表による。

項目

特記事項

○電線・ケーブル等の規格、記号で公共仕様書に定める以外のものは下記による。

呼 称	規 格	記 号					
ポリエチレン被覆鉄線 [EM導入線]	製造者規格						
電線保護物の規格で公共仕様書に定める以外のものは下記による。							
呼 称	規 格	記 号					
難燃性波付 硬質合成樹脂管	JIS C 3653 電力用ケーブルの地中埋設の施工附属書1 (規定) 「波付硬質合成樹脂管」及び同附書1の難燃性試験による自消 性がある。	F・FEP (配管サI [※])					
ケーブルの端末処理で、端末処理材を用いて処理する場所は下記による。							
施工箇所及びケーブル種別	摘 要						
ケーブルの分岐処理で、分岐処理材を用いて処理する場所は下記による。							
種 別	レジンモールド加工	モールド加工 (工場加工)					
施工箇所及びケーブル種別							
配線及び主回路の導体の色別は、次による。							
○ 標準仕様書による。							
● 配線及び主回路の導体の色別は、下記による。							
電気方式	第1相	第2相	第3相	中性相			
高 圧	三相3線式	赤	白	青			
低 圧	三相3線式	赤	接地側 白	黒			
	三相4線式	赤	青	黒	白		
	単相2線式	赤（青）	接地側 白				
	単相3線式	赤	青		白		
	直流2線式	青	白				
配 線	(1) 分岐回路の色別	分岐前の色別による。					
	(2) 発電回路の第2相	接地側の電線の色は黄色とする（無停電回路含む）					
	(3) 切替回路の2次側	規定しない。					
	(4) 漏電遮断器回路の接地	専用接地極とした時の接地線は、監督職員と協議し、一般接地線と色別を区別する。					
分 電 盤 類	共通事項		配線(1)～(4)による。				
	左右・上下及び遠近の別は、正面から見た状態		ア) 左右の別は、左からとする。 イ) 上下の別は、上からとし、直流2線式は、下からとする。 ウ) 遠近の別は、近いほうからとし、直流2線式は、遠いほうからとする。				
備考							
(a) 配電盤類については、次による。							
(1) 左右、遠近の別は、各回路部分における主となる開閉器の操作側又はこれに準ずる側から見た状態とし、分電盤類による。							
(2) 三相回路又は単相3線式回路より分岐する回路は、分岐前の色別による。							
(3) 三相交流の相は、第1相、第2相、第3相の順に相回転するものとする。							
(b) 屋外架空配線の色別は、本表によらなくてよい。							
(c) 接地線の色別は、監督職員の承諾を受けること。							
1部屋あたり 箇所以上測定し、監督職員に報告する。							

○特殊場所
＜第2編2.1.1～9＞

特殊場所は下記による。
特 殊 場 所 の 内 容
○ 湿気の多い場所
○ 気密性を要する場所
○ ガス蒸気危険場所
○ 粉じん危険場所
○ 危険物等貯蔵場所
○ 腐食性ガスのある場所
○ 蟻害を受けるおそれのある場所
○ 塩害を受けるおそれのある場所

項目

特記事項

表－1 機器標準取付高さ

名称	測点	取付高〔mm〕	名称	測点	取付高〔mm〕
積算計器	地上～窓中心	1,800～2,000	出 情報・出退表示盤	床上～中心	天井高×0.9
引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200	退 壁付発信機	床上～中心	1,300
分電盤	床上～中心	1,500 (上限1,900以下)	ベル・プザー・チャイム	床上～中心	2,300
			壁付押しボタン（一般）	床上～中心	1,300
スイッチ	床上～中心	1,300	外部受付用インターホン		
スイッチ	床上～中心	1,100	(子機)		
コンセント（一般）	床上～中心	300	壁付インターホン		
コンセント（和室）	床上～中心	150	(上記以外)		
コンセント（台上）	台上～中心	150～200	壁付インターホン	床上～中心	1,300
コンセント（車椅子用）	床上～中心	900	壁付呼びボタン		
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100～2,300	(多機能トイレ)	床上～中心	900、(400)
ブラケット（踊場）	床上～中心	2,000～2,500	障害者用インターホン	床上～中心	1,000～1,100
ブラケット（鏡上）	鏡上端～中心		(子機)		
壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上限1,900以下)	機器収容箱	床上～中心	200
開閉器箱	床上～中心	1,500	テレビ端子・直列	床上～中心	300
制御用スイッチ	床上～中心	1,500	ユニット（一般）		
雷保護			テレビ端子・直列	床上～中心	150
試験用接続端子箱	床上～下端	800	ユニット（和室）		
接地端子箱	地上～中心	500			
受変電					
給油口ボックス	地上～給油口	1,000	受信機・副受信機	床上～操作部	800～1,500
充電			連動制御器		
情報用コンセント	床上～中心	300	機器収容箱	床上～操作部	800～1,500
構内			発信機	床上～中心	800～1,500
火災			警報ベル	床上～中心	2,300
警報			表示灯	床上～中心	2,100
通信			ガス検知器（都市ガス用）	天井面～中心	天井面～300
端子盤（室内）	床上～下端	300	ガス検知器		
構内集合保安器箱	天井下～上端	200	(液化石油ガス)	床上～上端	300
交壁付電話機（一般）	床上～中心	1,300			
交換電話用アウトレット	床上～中心	300	接地極埋設標	地上～中心	600
壁掛形親時計	床上～中心	1,500 (上限1,900以下)	屋外		
時計	床上～中心	天井高×0.9			
子時計	床上～中心	天井高×0.9			
拡張形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9			
声壁付アッテネータ	床上～中心	1,300			

表－2 接地極一覧表

接地の種類	記号	接地抵抗	接地極の規格・数量
○ 共同接地	EA・D	10Ω以下	E B (D=14, L=1, 500又はW=40, L=1, 200) ×3連- 組
○ 共同接地	EA・C・D	10Ω以下	E B (D=14, L=1, 500又はW=40, L=1, 200) ×3連- 組
● A種	EA	10Ω以下	E B (D=14, L=1, 500又はW=40, L=1, 200) ×3連- △組
● B種	EB	Ω以下	E P (t1.5×600×600)
● C種	EC	10Ω以下	E B (D=14, L=1, 500又はW=40, L=1, 200) ×3連- △組
● D種	ED	100Ω以下	E B (D=10, L=1, 500又はW=40, L=1, 200) ×1
○ 漏電遮断器回路用	EELCB	100Ω以下	E B (D=10, L=1, 500又はW=40, L=1, 200) ×1
○ 高圧避雷器用	ELH	10Ω以下	E B (D=14, L=1, 500又はW=40, L=1, 200) ×3連- 組
○ 交換装置用	E t	10Ω以下	E B (D=14, L=1, 500又はW=40, L=1, 200) ×3連- 組
○ 通信用 (100Ω)	E A t	10Ω以下	E B (D=14, L=1, 500又はW=40, L=1, 200) ×3連- 組
○ 通信用 (100Ω)	E D t	100Ω以下	E B (D=10, L=1, 500又はW=40, L=900) ×1
○ 電話引込口の保安器	E L t	100Ω以下	E B (D=10, L=1, 500又はW=40, L=900) ×1
● 測定用	E0		E B (D=10, L=1, 500又はW=40, L=900) ×1

年度

設計年月

設計業務名

工事名称

図面名称

縮尺

建築士法第20条第1項に基づく表示

独立行政法人 国立高等専門学校機構
鈴鹿工業高等学校

図面番号

令和元

令和2年7月

鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務

鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事

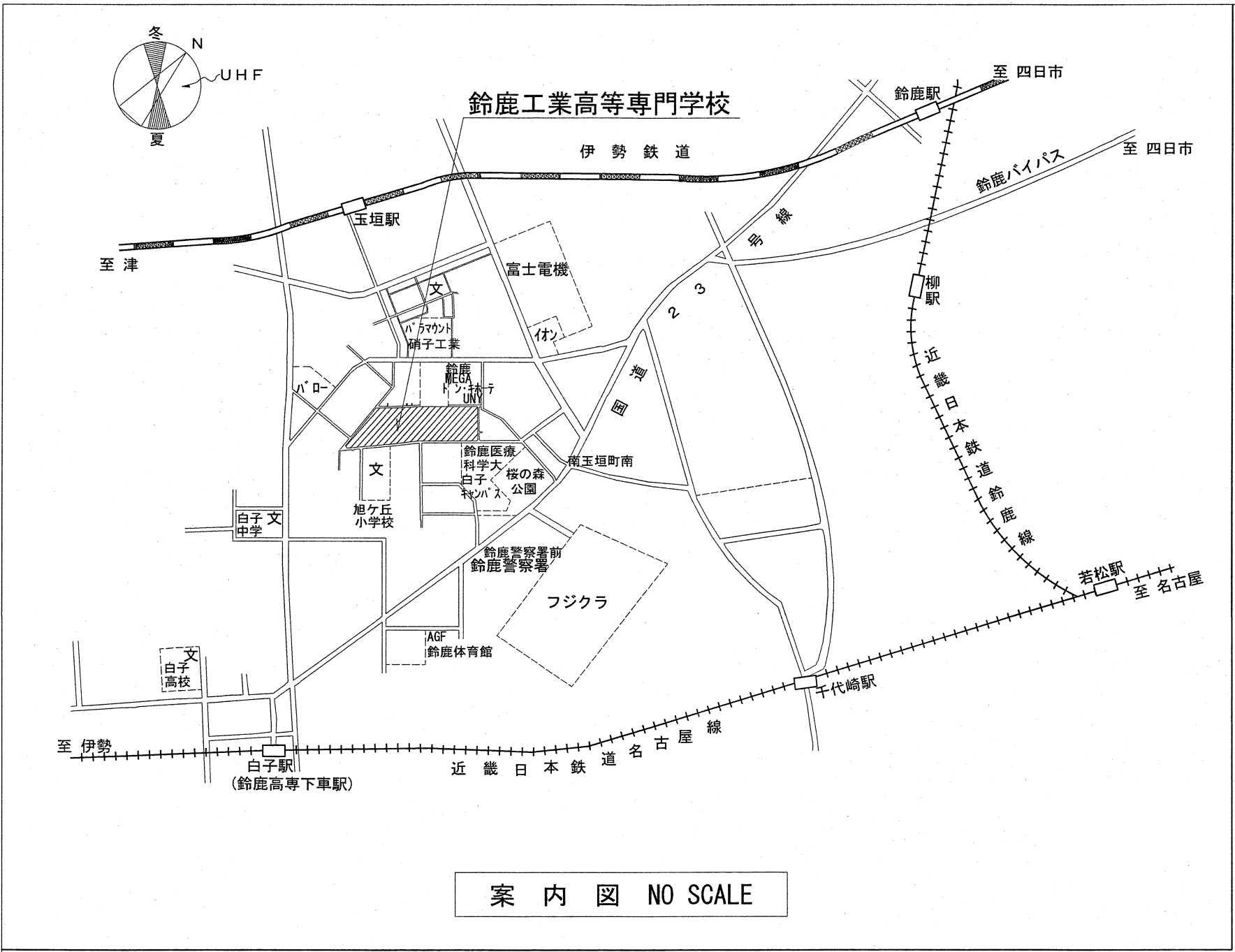
電気設備工事特記仕様書（2）

S = N・S (A1)
S = N・S (A3)

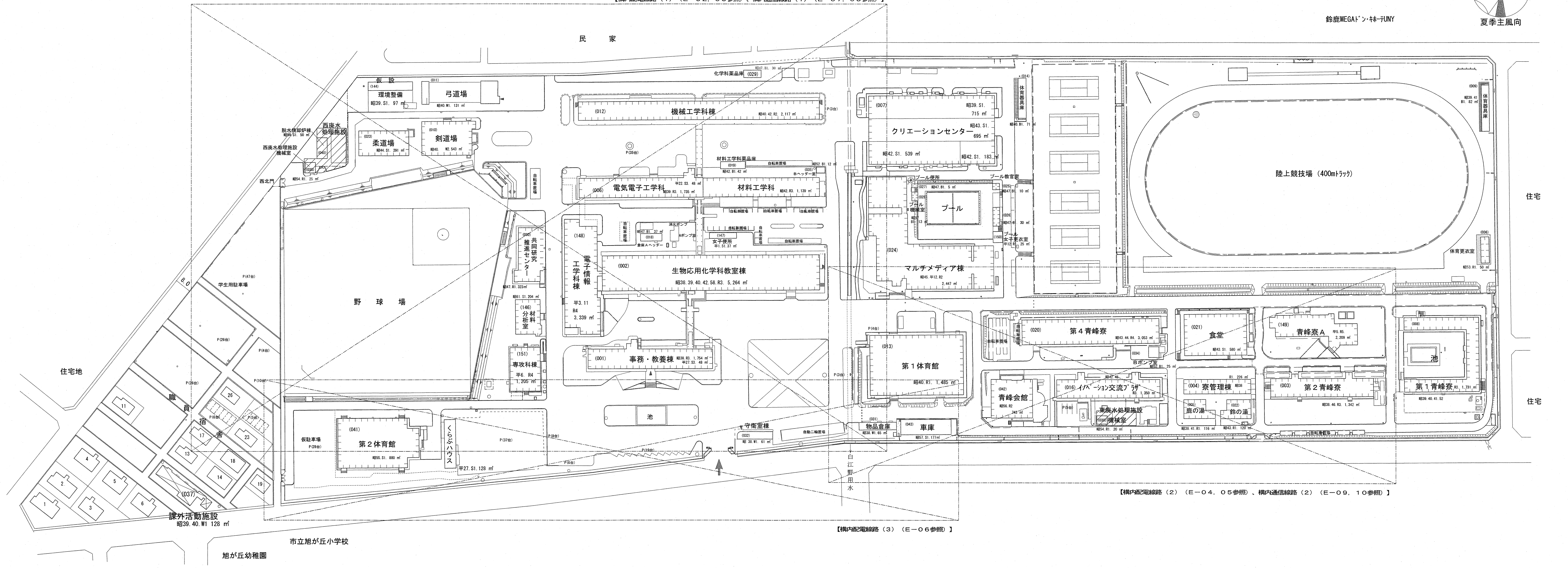
株式会社 ミューバートガス
名古屋市熱田区新尾張3丁目2-1
TEL 052-684-984(代)
FAX 052-684-984(代)
一級建築士 第242551号 植田 亮

事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当

特-E2



【構内配電線路（1）（E-02、03参照）、構内通信線路（1）（E-07、08参照）】

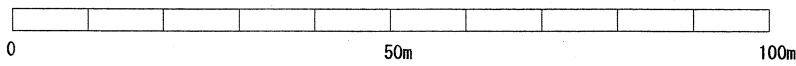


【構内配電線路（2）（E-04、05参照）、構内通信線路（2）（E-09、10参照）】

【構内配電線路（3）（E-06参照）】

配置図 S=1:1000

- ：本工事改修建築物を示す
- ：本工事改修範囲を示す

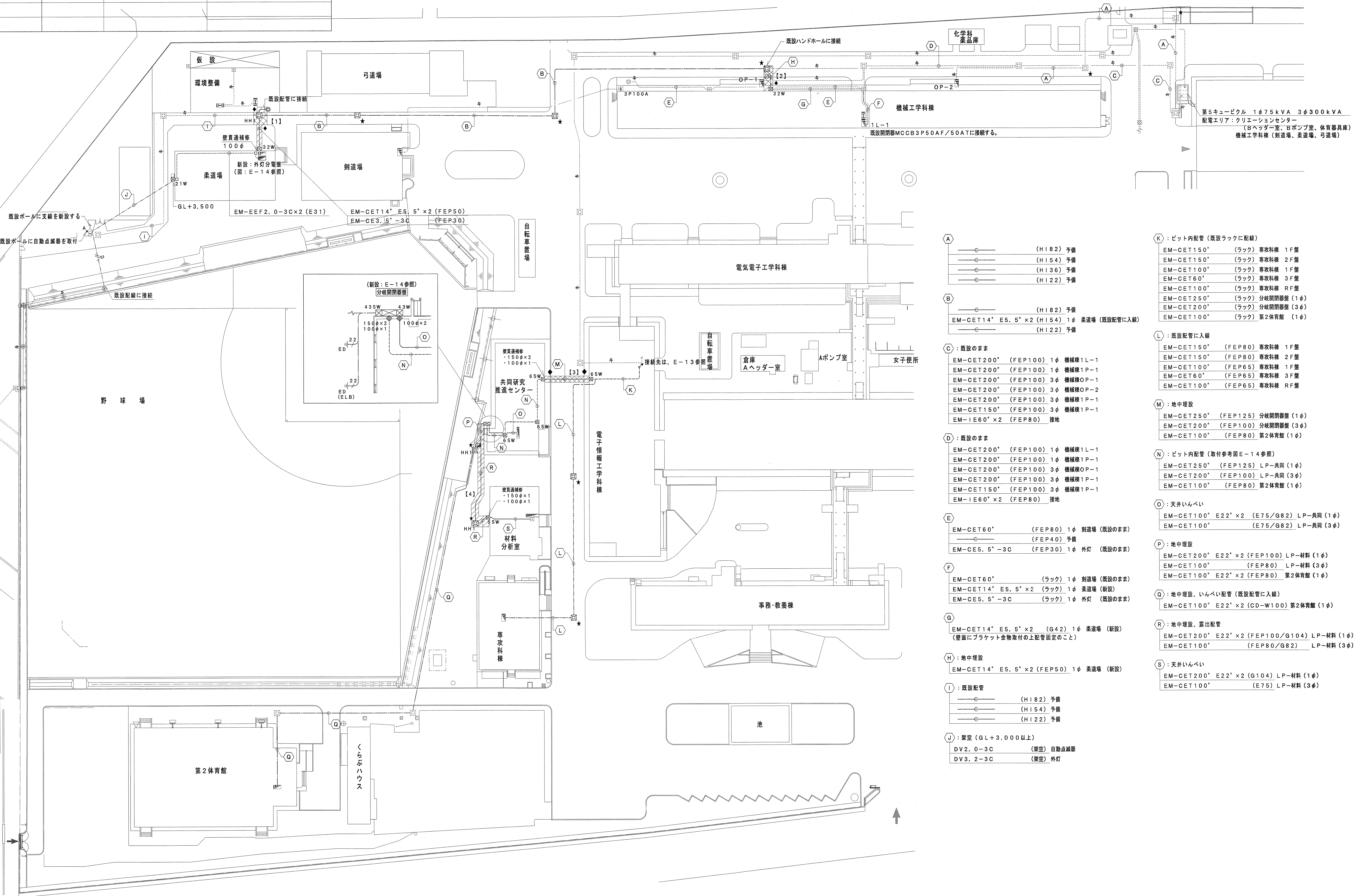


年度	設計年月	設計業務名	工事名称	図面名称	縮尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	配置図・案内図	S=1/1000(A1) S=1/2000(A3)	株式会社 ミューバート 名古屋市中熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 楠田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当 [Seal] [Seal] [Seal] [Seal] [Seal]	E-01

記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
	電灯室			ハンドホール	HH1:900×900×900(R2K-600)
	動力室			ブルボックス	サイズは下記による
	電灯動力室		-----	配線・配管	露出
	手元開閉器	容量は、傍記による。	-----	配線・配管	床いんべい(ピット内含む)
	鋼管ポール		-----	配線・配管	埋設
	外灯		-----	配線・配管	架空
	自動点滅器				
	接地柱	接地柱埋設標共			

- 注 記
- 1) 特記なき配管・配線は下記による。
図中 は、既設配管・配線を示す。
 DV3、2-3C (架空)
 EM-IE22"×1 (VE16)
- 2) 図中の点線記号は、既設を示す。
- 3) 図中 ★ 印は、既設ハンドホール使用を示す。
内部清掃を行うこと。
- 4) ブルボックスサイズは下記による。(W付はSUS製防水型を示す)
21・・・200×200×100
32・・・300×300×200
43・・・400×400×300
435・・・400×400×350
65・・・600×600×500
- 5) 図中 ◆ 印は、L型側溝撤去・復旧を示す。(参考図E-14)
- 6) 図中の記号は、下記による。
 : 地中線埋設標 (コンクリート製)
 : 地中線埋設標 (鉄製)
- 7) 地中埋設配管の埋設深さは、下記による。
埋設配管部分には、保護シート(ダブル)を設置する。
管上にてGL-600以上とする。
- 8) 図中の は土工事範囲を示す。
- 9) 図中の は土工事+アスファルト舗装新設補修範囲を示す。
アスファルト舗装 t=50 再生砕石 t=150 (参考図E-14)

土工事範囲表			
記 号	土 工 事 範 囲	舗装種類	m
[1]	560×5800×770H	土	3.248
	1500×3000×1100H	アスファルト	4.500
	2200×1300×750H	土	2.860
[2]	470×1000×770H	土	0.470
	470×3700×770H	アスファルト	1.739
	710×1300×1100H	土	0.923
[3]	710×8000×1100H	アスファルト	5.680
	710×1600×1100H	土	1.065
	710×6800×970H	土	4.828
[4]	500×2000×800H	土	1.000
	710×1700×830H	土	1.207
	2300×2900×830H	土	6.670
合計			34.190

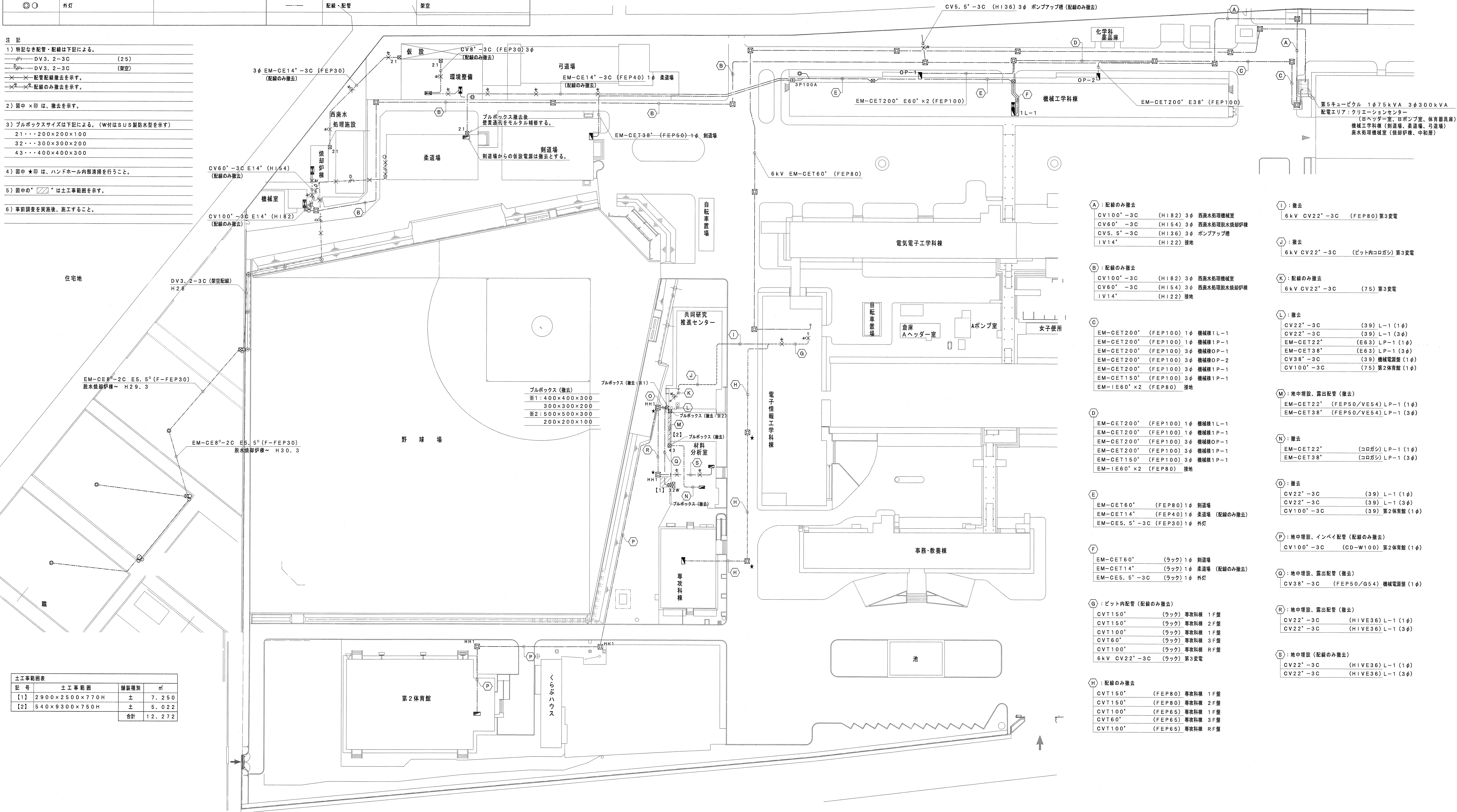


- A: 既設のままで
EM-CET200" (FEP100) 1φ 機械棟1L-1
EM-CET200" (FEP100) 1φ 機械棟1P-1
EM-CET200" (FEP100) 3φ 機械棟OP-1
EM-CET200" (FEP100) 3φ 機械棟OP-2
EM-CET200" (FEP100) 3φ 機械棟1P-1
EM-CET150" (FEP100) 3φ 機械棟1P-1
EM-IE60"×2 (FEP80) 接地
- B: 既設のままで
EM-CET200" (FEP100) 1φ 機械棟1L-1
EM-CET200" (FEP100) 1φ 機械棟1P-1
EM-CET200" (FEP100) 3φ 機械棟OP-1
EM-CET200" (FEP100) 3φ 機械棟OP-2
EM-CET200" (FEP100) 3φ 機械棟1P-1
EM-CET150" (FEP100) 3φ 機械棟1P-1
EM-IE60"×2 (FEP80) 接地
- C: 既設のままで
EM-CET60" (FEP80) 1φ 剣道場 (既設のまま)
EM-CE5, 5'-3C (FEP30) 1φ 外灯 (既設のまま)
- D: 既設のままで
EM-CET14" E5, 5'×2 (G42) 1φ 柔道場 (新設)
EM-CE5, 5'-3C (ラック) 1φ 外灯 (既設のまま)
- E: 既設のままで
EM-CET14" E5, 5'×2 (FEP50) 1φ 柔道場 (新設)
- F: 既設のままで
EM-CET14" E5, 5'×2 (FEP50) 1φ 柔道場 (新設)
- G: 既設のままで
EM-CET14" E5, 5'×2 (FEP50) 1φ 柔道場 (新設)
- H: 既設のままで
EM-CET14" E5, 5'×2 (FEP50) 1φ 柔道場 (新設)
- I: 既設のままで
EM-CET14" E5, 5'×2 (FEP50) 1φ 柔道場 (新設)
- J: 既設のままで
EM-CET14" E5, 5'×2 (FEP50) 1φ 柔道場 (新設)
- K: ピット内配管 (既設ラックに配線)
EM-CET150" (ラック) 専攻科棟 1F 壁
EM-CET150" (ラック) 専攻科棟 2F 壁
EM-CET100" (ラック) 専攻科棟 1F 壁
EM-CET60" (ラック) 専攻科棟 3F 壁
EM-CET100" (ラック) 専攻科棟 RF 壁
EM-CET250" (ラック) 分岐開閉器 (1φ)
EM-CET200" (ラック) 分岐開閉器 (3φ)
EM-CET100" (ラック) 第2体育館 (1φ)
- L: 地中埋設
EM-CET150" (FEP80) 専攻科棟 1F 壁
EM-CET150" (FEP80) 専攻科棟 2F 壁
EM-CET100" (FEP65) 専攻科棟 1F 壁
EM-CET60" (FEP65) 専攻科棟 3F 壁
EM-CET100" (FEP65) 専攻科棟 RF 壁
- M: 地中埋設
EM-CET250" (FEP125) 分岐開閉器 (1φ)
EM-CET200" (FEP100) 分岐開閉器 (3φ)
EM-CET100" (FEP80) 第2体育館 (1φ)
- N: ピット内配管 (取付参考図E-14参照)
EM-CET250" (FEP125) LP-共同 (1φ)
EM-CET200" (FEP100) LP-共同 (3φ)
EM-CET100" (FEP80) 第2体育館 (1φ)
- O: 天井いんべい
EM-CET100" E22"×2 (E75/G82) LP-共同 (1φ)
EM-CET100" (E75/G82) LP-共同 (3φ)
- P: 地中埋設
EM-CET200" E22"×2 (FEP100) LP-材料 (1φ)
EM-CET100" (FEP80) LP-材料 (3φ)
EM-CET100" E22"×2 (FEP80) 第2体育館 (1φ)
- Q: 地中埋設、いんべい配管 (既設配管に入線)
EM-CET100" E22"×2 (CD-W100) 第2体育館 (1φ)
- R: 地中埋設、露出配管
EM-CET200" E22"×2 (FEP100/G104) LP-材料 (1φ)
EM-CET100" (FEP80/G82) LP-材料 (3φ)
- S: 天井いんべい
EM-CET200" E22"×2 (G104) LP-材料 (1φ)
EM-CET100" (E75) LP-材料 (3φ)

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	構内配電線路（1）（改修後）	S= 1/500 (A1) S= 1/1000 (A3)	株式会社 ミューバート 名古屋市中村区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当	E-02

記 号	名 称	摘 要	記 号	名 称	摘 要
	電灯盤			ハンドホール	HH1:900×900×900 (R2K-600)
	動力盤			ブルボックス	サイズは下記による
	電灯動力盤			配線・配管	露出
	手元開閉器	容量は、併記による。	-----	配線・配管	床いんべい (ビット内含む)
	鋼管ホール		-----	配線・配管	埋設
	外灯		-----	配線・配管	架空

- 注 記
- 1) 特記なき配管・配線は下記による。
- DV3、2-3C (25)
- DV3、2-3C (架空)
- ××× 配管配線撤去を示す。
- ××× 配線のみ撤去を示す。
- 2) 図中 ×印 は、撤去を示す。
- 3) ブルボックスサイズは下記による。(W付はSUS製防水型を示す)
- 21・・・200×200×100
- 32・・・300×300×200
- 43・・・400×400×300
- 4) 図中 ★印 は、ハンドホール内部清掃を行うこと。
- 5) 図中の " " は土工事範囲を示す。
- 6) 事前調査を実施後、施工すること。



記 号	土 工 事 範 囲	舗装種別	㎡
[1]	2900×2500×770H	土	7.250
[2]	540×9300×750H	土	5.022
	合計		12.272

- A: 配線のみ撤去
- CV100'-3C (H182) 3φ 西流水処理機械室
- CV60'-3C (H154) 3φ 西流水処理脱水後部研機
- CV5.5'-3C (H136) 3φ ポンプアップ槽
- IV14' (H122) 接地
- B: 配線のみ撤去
- CV100'-3C (H182) 3φ 西流水処理機械室
- CV60'-3C (H154) 3φ 西流水処理脱水後部研機
- IV14' (H122) 接地
- C: 配線のみ撤去
- EM-CET200' (FEP100) 1φ 機械棟1L-1
- EM-CET200' (FEP100) 1φ 機械棟1P-1
- EM-CET200' (FEP100) 3φ 機械棟OP-1
- EM-CET200' (FEP100) 3φ 機械棟OP-2
- EM-CET200' (FEP100) 3φ 機械棟1P-1
- EM-CET150' (FEP100) 3φ 機械棟1P-1
- EM-IE60' x2 (FEP80) 接地
- D: 配線のみ撤去
- EM-CET200' (FEP100) 1φ 機械棟1L-1
- EM-CET200' (FEP100) 1φ 機械棟1P-1
- EM-CET200' (FEP100) 3φ 機械棟OP-1
- EM-CET200' (FEP100) 3φ 機械棟1P-1
- EM-CET150' (FEP100) 3φ 機械棟1P-1
- EM-IE60' x2 (FEP80) 接地
- E: 配線のみ撤去
- EM-CET60' (FEP80) 1φ 剣道場
- EM-CET14' (FEP40) 1φ 柔道場 (配線のみ撤去)
- EM-CE5.5'-3C (FEP30) 1φ 外灯
- F: 配線のみ撤去
- EM-CET60' (ラック) 1φ 剣道場
- EM-CET14' (ラック) 1φ 柔道場 (配線のみ撤去)
- EM-CE5.5'-3C (ラック) 1φ 外灯
- G: ビット内配管 (配線のみ撤去)
- CVT150' (ラック) 専攻科棟 1F 壁
- CVT150' (ラック) 専攻科棟 2F 壁
- CVT100' (ラック) 専攻科棟 1F 壁
- CVT60' (ラック) 専攻科棟 3F 壁
- CVT100' (ラック) 専攻科棟 RF 壁
- 6kV CV22'-3C (ラック) 第3変電
- H: 配線のみ撤去
- CVT150' (FEP80) 専攻科棟 1F 壁
- CVT150' (FEP80) 専攻科棟 2F 壁
- CVT100' (FEP65) 専攻科棟 1F 壁
- CVT60' (FEP65) 専攻科棟 3F 壁
- CVT100' (FEP65) 専攻科棟 RF 壁
- I: 撤去
- 6kV CV22'-3C (FEP80) 第3変電
- J: 撤去
- 6kV CV22'-3C (ビット内コロシアム) 第3変電
- K: 配線のみ撤去
- 6kV CV22'-3C (75) 第3変電
- L: 撤去
- CV22'-3C (39) L-1 (1φ)
- CV22'-3C (39) L-1 (3φ)
- EM-CET22' (E63) LP-1 (1φ)
- EM-CET38' (E63) LP-1 (3φ)
- CV38'-3C (39) 機械電源室 (1φ)
- CV100'-3C (75) 第2体育館 (1φ)
- M: 地中埋設、露出配管 (撤去)
- EM-CET22' (FEP50/VE54) LP-1 (1φ)
- EM-CET38' (FEP50/VE54) LP-1 (3φ)
- N: 撤去
- EM-CET22' (コロシアム) LP-1 (1φ)
- EM-CET38' (コロシアム) LP-1 (3φ)
- O: 撤去
- CV22'-3C (39) L-1 (1φ)
- CV22'-3C (39) L-1 (3φ)
- CV100'-3C (39) 第2体育館 (1φ)
- P: 地中埋設、インベ配管 (配線のみ撤去)
- CV100'-3C (CD-W100) 第2体育館 (1φ)
- Q: 地中埋設、露出配管 (撤去)
- CV38'-3C (FEP50/G54) 機械電源室 (1φ)
- R: 地中埋設、露出配管 (撤去)
- CV22'-3C (HIVE36) L-1 (1φ)
- CV22'-3C (HIVE36) L-1 (3φ)
- S: 地中埋設 (配線のみ撤去)
- CV22'-3C (HIVE36) L-1 (1φ)
- CV22'-3C (HIVE36) L-1 (3φ)

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	構内配電線路（1）（改修前）	S= 1/500 (A1) S= 1/1000 (A3)	株式会社 ミューバートナ 名古屋市中区新栄3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当 	E-03

記 号	名 称	摘 要
	電灯座	
	動力座	
	電灯動力座	
	外灯	
	ハンドホール	
	プルボックス	
.....	配線・配管	露出
.....	配線・配管	床いんべい（ビッド内含む）
.....	配線・配管	埋設
.....	配線・配管	架空

注 記

1) 特記なき配管・配線は下記による。
図中 は、既設配管・配線を示す。
図中 は、既設配管に入線を示す。
.....は、EM-CE8" -3C (VE36) 車庫 (1φ)
上記配管は、4 m間隔にて既設コンクリート梁台等を設置し支持を取ること。

2) 図中の点線記号は、既設を示す。

3) 図中 ★ 印は、既設ハンドホール使用を示す。
内部清掃を行うこと。

4) 外灯の施工方法については、図・E-14を参照すること。

(A) : 本工事は別途図面 (E-06) 参照
EM-CE8" -3C (FEP30) 車庫 (1φ)
EM-CE5" 5" -3C (FEP30) 外灯
EM-CE8" -3C (FEP30) 外灯

(B) : 既設配管に入線
EM-CE8" -3C (VE36) 車庫 (1φ)
EM-CE8" -3C (VE36) 外灯

(C) : 既設配管に入線
EM-CE8" -3C (VE36) 車庫 (1φ)

(D) : 既設配管に入線
EM-CE8" -3C (E31) 車庫 (1φ)

(E) : 既設配管に入線
EM-CET150" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L3 1F) ~A素
EM-CET150" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L5 1F) ~A素
EM-CET100" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L4 3F) ~A素

(F) : 既設配管に入線
EM-CET100" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L1 1F) ~A素
EM-CET100" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L2 3F) ~A素

(G) : 既設配管に入線
EM-CET100" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L1 1F) ~A素
EM-CET100" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L2 3F) ~A素
EM-CET150" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L3 1F) ~A素
EM-CET150" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L5 1F) ~A素
EM-CET100" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L4 3F) ~A素

(H) : 既設配管に入線
EM-CET100" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L1 1F) ~A素
EM-CET100" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L2 3F) ~A素
EM-CET150" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L3 1F) ~A素
EM-CET150" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L5 1F) ~A素
EM-CET100" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L4 3F) ~A素
EM-CET22" E8" (FEP50) 動力 寮管理棟~4素階外圧送
EM-CEE2" -15C 警報 寮管理棟~4素階外圧送

(I) : 既設配管に入線
EM-CET22" E8" (FEP50) 動力 寮管理棟~4素階外圧送
EM-CEE2" -15C 警報 寮管理棟~4素階外圧送

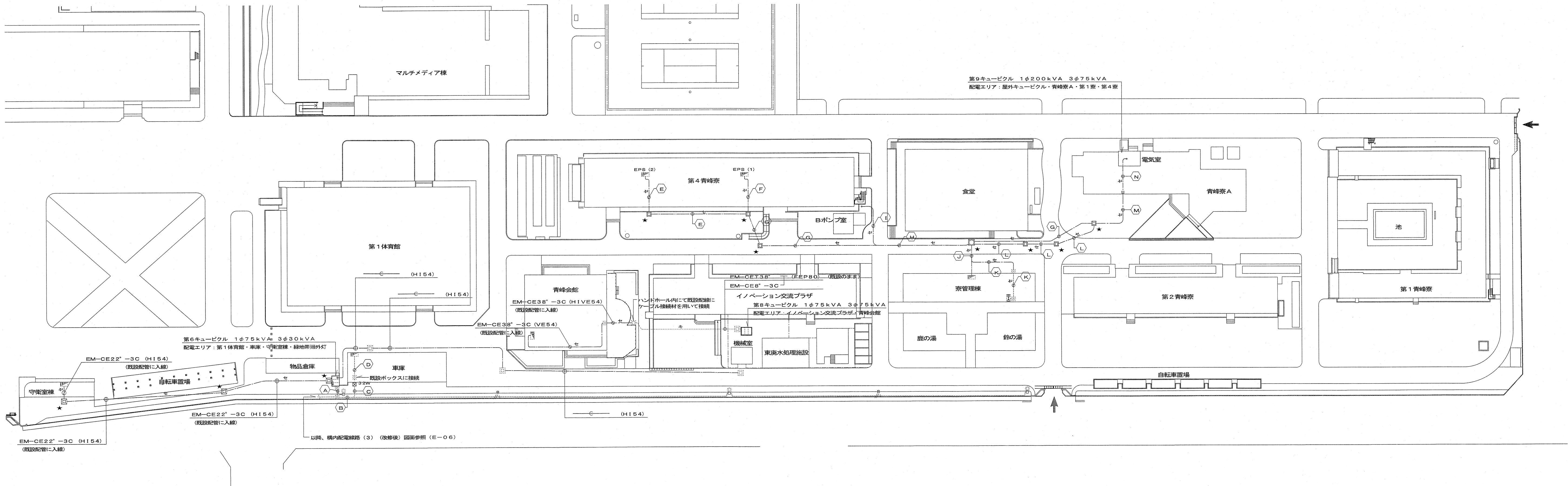
(J) : 既設配管に入線
EM-CET100" E22" (FEP80) 幹線 寮管理棟~A素
EM-CET60" E14" (FEP80) 幹線 寮管理棟~A素
EM-CET22" E8" (FEP50) 動力 寮管理棟~4素階外圧送
EM-CEE2" -15C (FEP50) 警報 寮管理棟~4素階外圧送
EM-CEE2" -6C 警報 寮管理棟~A素

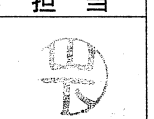
(K) : 既設配管に入線
EM-CET60" E14" (FEP80/E63) 幹線 寮管理棟~4素階外圧送
EM-CET22" E8" (FEP50/E51) 動力 寮管理棟~4素階外圧送

(L) : 既設配管に入線
EM-CET100" E22" (FEP80) 幹線 寮管理棟~A素
EM-CET60" E14" (FEP80) 幹線 寮管理棟~A素
EM-CEE2" -6C (FEP50) 警報 寮管理棟~A素

(M) : 既設配管に入線
EM-CET100" E22" (FEP80) 幹線 寮管理棟~A素
EM-CET60" E14" (FEP80) 幹線 寮管理棟~A素
EM-CEE2" -6C (FEP50) 警報 寮管理棟~A素
EM-CET100" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L1 1F) ~A素
EM-CET100" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L2 3F) ~A素
EM-CET150" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L3 1F) ~A素
EM-CET150" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L5 1F) ~A素
EM-CET100" E38" (FEP80) 幹線 4素 (L4 3F) ~A素

(N) : 既設ラックに配線
EM-CET100" E22" (ラック) 幹線 寮管理棟~A素
EM-CET60" E14" (ラック) 幹線 寮管理棟~A素
EM-CEE2" -6C (ラック) 警報 寮管理棟~A素
EM-CET100" E38" (ラック) 幹線 4素 (L1 1F) ~A素
EM-CET100" E38" (ラック) 幹線 4素 (L2 3F) ~A素
EM-CET150" E38" (ラック) 幹線 4素 (L3 1F) ~A素
EM-CET150" E38" (ラック) 幹線 4素 (L5 1F) ~A素
EM-CET100" E38" (ラック) 幹線 4素 (L4 3F) ~A素



年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	構内配電線路（2）（改修後）	S= 1/500 (A1) S= 1/1000 (A3)	株式会社 ミューバート 名古屋市中村区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 楠田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当     	E-04

記 号	名 称	摘 要
	電灯壁	
	動力壁	
	外灯	
	ハンドホール	
	ブルボックス	
-----	配線・配管	露出
-----	配線・配管	床いんべい（ピット内含む）
-----	配線・配管	埋設
-----	配線・配管	架空

注 記

1) 特記なき配管・配線は下記による。
××× 配管配線撤去を示す。
××× 配線のみ撤去を示す。

2) 図中 ×印 は、撤去を示す。

3) 図中 ★印 は、ハンドホール内部清掃を行うこと。

4) 事前調査を実施後、施工すること。

5) 図中の□□□ は樹木（H=3000）伐採範囲を示す。

A : 配線のみ撤去
CV8" -2C (VE36) 車庫 (1φ)
CV8" -3C (VE36) 車庫 (3φ)

B : 配線のみ撤去
CV8" -2C (E31) 車庫 (1φ)
CV8" -3C (E31) 車庫 (3φ)

C : 配線のみ撤去
CVT150" (FEP80) 幹線 4寮 (L3 1F) ~A寮
CVT150" (FEP80) 幹線 4寮 (L5 1F) ~A寮
CVT100" (FEP80) 幹線 4寮 (L4 3F) ~A寮

D : 配線のみ撤去
CVT100" E38" (FEP80) 幹線 4寮 (L1 1F) ~A寮
CVT100" E38" (FEP80) 幹線 4寮 (L2 3F) ~A寮

E : 配線のみ撤去
CVT100" E38" (FEP80) 幹線 4寮 (L1 1F) ~A寮
CVT100" E38" (FEP80) 幹線 4寮 (L2 3F) ~A寮
CVT150" (FEP80) 幹線 4寮 (L3 1F) ~A寮
CVT150" (FEP80) 幹線 4寮 (L5 1F) ~A寮
CVT100" (FEP80) 幹線 4寮 (L4 3F) ~A寮

F : 配線のみ撤去
CVT100" E38" (FEP80) 幹線 4寮 (L1 1F) ~A寮
CVT100" E38" (FEP80) 幹線 4寮 (L2 3F) ~A寮
CVT150" (FEP80) 幹線 4寮 (L3 1F) ~A寮
CVT150" (FEP80) 幹線 4寮 (L5 1F) ~A寮
CVT100" (FEP80) 幹線 4寮 (L4 3F) ~A寮
CVT22" E8" (FEP50) 動力 寮管理棟~4寮階廊内圧送
CVV2" -15C 警報 寮管理棟~4寮階廊内圧送

G : 配線のみ撤去
CVT22" E8" (FEP50) 動力 寮管理棟~4寮階廊内圧送
CVV2" -15C 警報 寮管理棟~4寮階廊内圧送

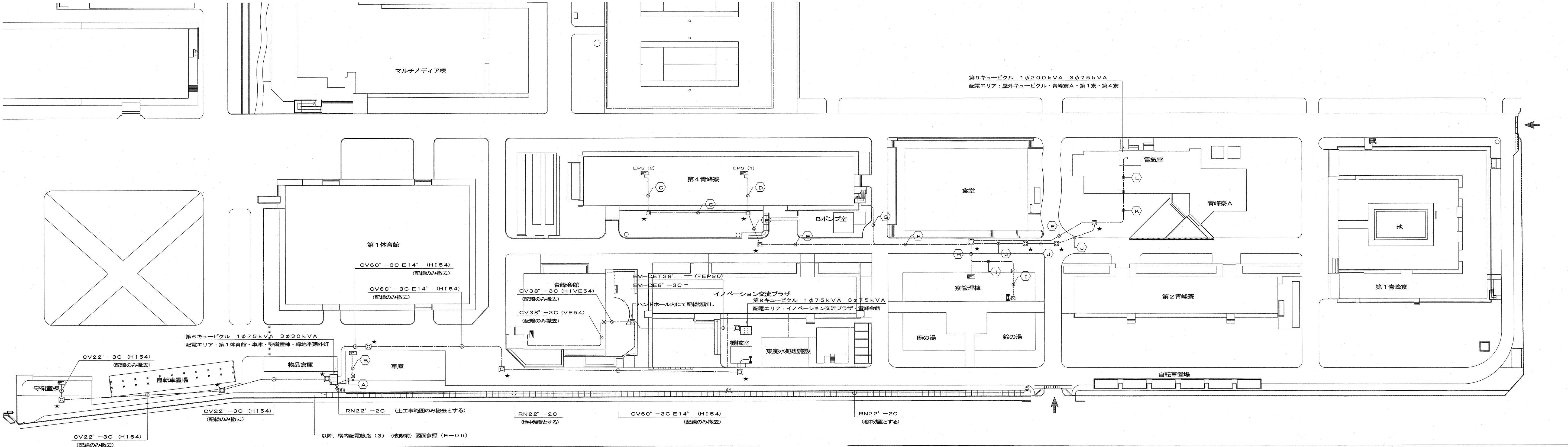
H : 配線のみ撤去
CVT100" E22" (FEP80) 幹線 寮管理棟~A寮
CVT60" E14" (FEP80) 幹線 寮管理棟~A寮
CVT22" E8" (FEP50) 動力 寮管理棟~4寮階廊内圧送
CVV2" -15C 警報 寮管理棟~4寮階廊内圧送
CVV2" -6C 警報 寮管理棟~A寮

I : 配線のみ撤去
CVT60" E14" (FEP80) 幹線 寮管理棟~A寮
CVT22" E8" (FEP50) 動力 寮管理棟~4寮階廊内圧送

J : 配線のみ撤去
CVT100" E22" (FEP80) 幹線 寮管理棟~A寮
CVT60" E14" (FEP80) 幹線 寮管理棟~A寮
CVV2" -6C (FEP50) 警報 寮管理棟~A寮

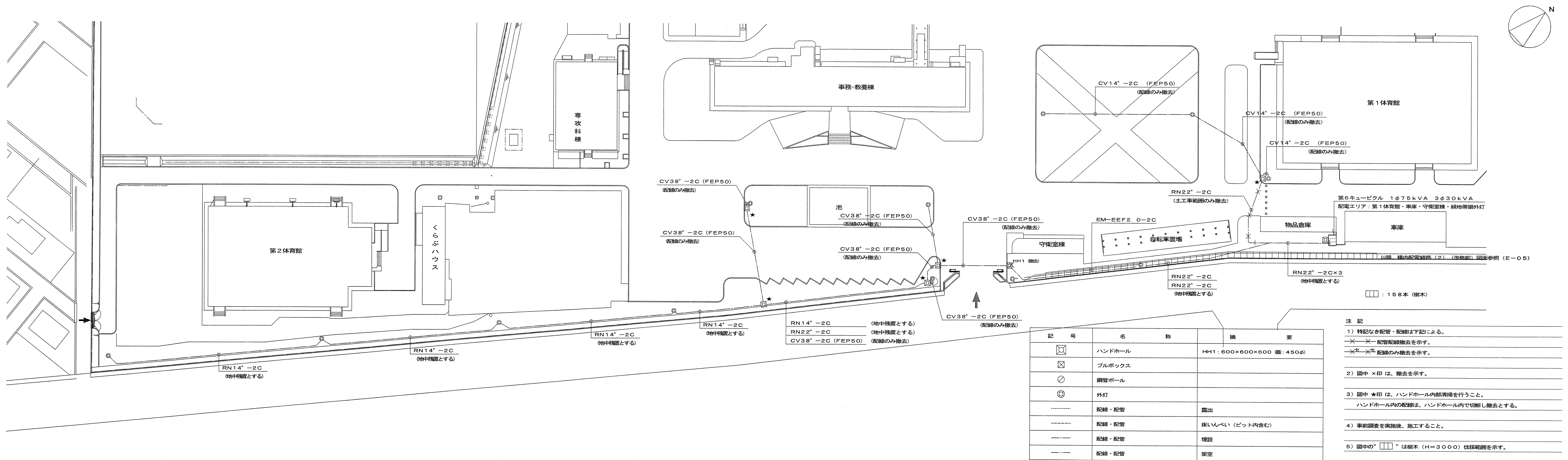
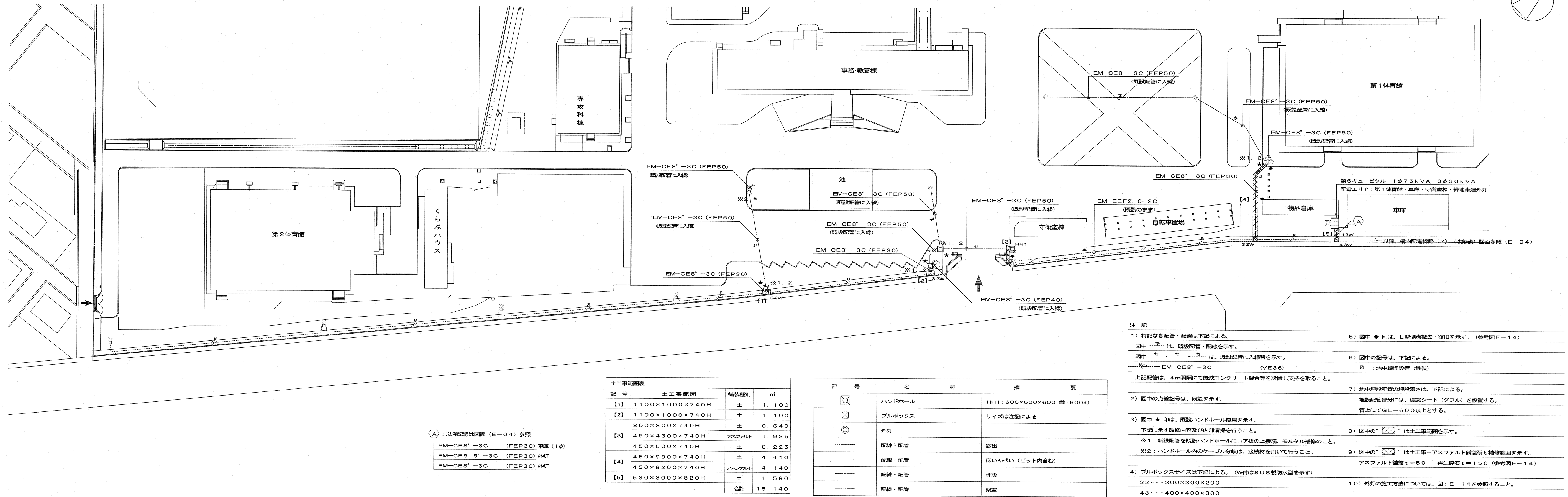
K : 配線のみ撤去
CVT100" E22" (FEP80) 幹線 寮管理棟~A寮
CVT60" E14" (FEP80) 幹線 寮管理棟~A寮
CVV2" -6C (FEP50) 警報 寮管理棟~A寮
CVT100" E38" (FEP80) 幹線 4寮 (L1 1F) ~A寮
CVT100" E38" (FEP80) 幹線 4寮 (L2 3F) ~A寮
CVT150" (FEP80) 幹線 4寮 (L3 1F) ~A寮
CVT150" (FEP80) 幹線 4寮 (L5 1F) ~A寮
CVT100" (FEP80) 幹線 4寮 (L4 3F) ~A寮

L : 配線のみ撤去
CVT100" E22" (ラック) 幹線 寮管理棟~A寮
CVT60" E14" (ラック) 幹線 寮管理棟~A寮
CVV2" -6C (ラック) 警報 寮管理棟~A寮
CVT100" E38" (ラック) 幹線 4寮 (L1 1F) ~A寮
CVT100" E38" (ラック) 幹線 4寮 (L2 3F) ~A寮
CVT150" (ラック) 幹線 4寮 (L3 1F) ~A寮
CVT150" (ラック) 幹線 4寮 (L5 1F) ~A寮
CVT100" (ラック) 幹線 4寮 (L4 3F) ~A寮



□□ : 426木 (樹木)

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	構内配電線路（2）（改修前）	S= 1/500 (A1) S= 1/1000 (A3)	株式会社 ミューバートナ 名古屋市中村区新尾道3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当 	E-05



年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	構内配電線路（3）（改修前・後）	S= 1/500 (A1) S= 1/1000 (A3)	株式会社 ミューバートナイズ 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当	E-06

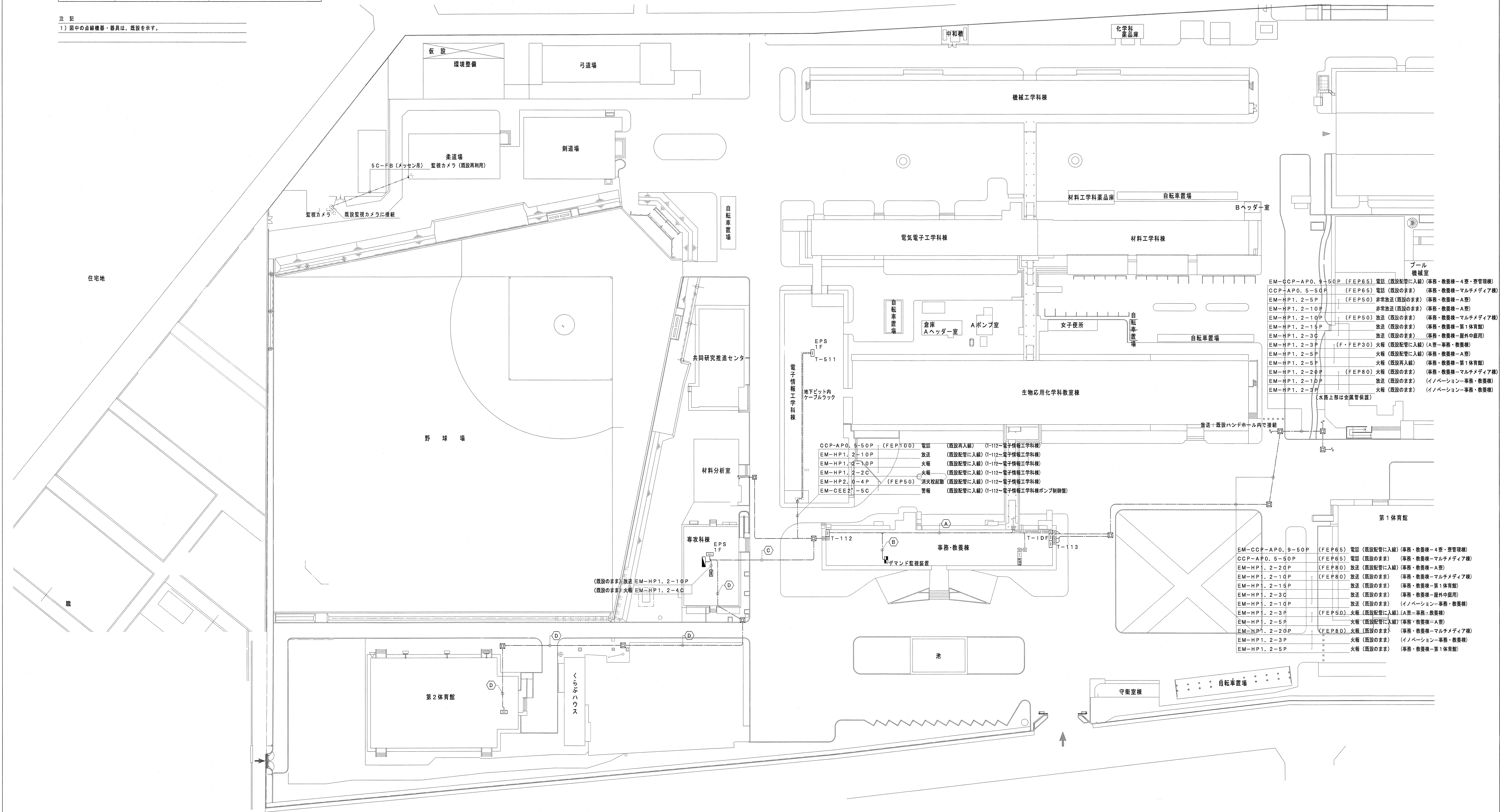
注 記

1) 図中の点線機器・器具は、既設を示す。

B (既設のまま)	
CVV-S2 ⁺ -2C	警報 (1号館ボンブ警報艇～T-112)
CVV2 ⁺ -5C	警報 (1号館ボンブ警報艇～T-112)
EM-CPEE0.9-5P	信号 (総合盤E Vインターホン～E科機)
EM-HP1.2-5P	火報 (T-113～事務・教養棟副受信機)

CCP-AP2, 5-50P (FEP30)	(既設のまゝ) (事務・教養棟T-112→専攻科棟)
HP1, 2-20P (FEP30)	(既設のまゝ) (事務・教養棟T-112→専攻科棟)
EM-HP1, 2-20P (FEP30)	(既設配管に人組) (事務・教養棟T-112→専攻科棟)
EM-CES2 ⁺ -2C (FEP30)	(既設配管に人組) (事務・教養棟T-112→専攻科棟)
EM-FP2 ⁺ -4C (FEP30)	(既設配管・消火ポンプ起動)

D	EM-CCP-P0. 9-5 P	(CD-W30)	電話 (既設配管に入線) (導学科棟~第2体育館)
	EM-CPPE0. 9-5 P	(CD-W30)	放送 (既設配管に入線) (導学科棟~第2体育館)
	EM-HP1. 2-5 P	(CD-W30)	火報 (既設配管に入線) (導学科棟~第2体育館)
	EM-FP1. 2-4 C	(CD-W30)	警報 (既設配管に入線) (導学科棟~第2体育館)
	EM-HP1. 2-3 C	(CD-W30)	放送 (既設のまま) (導学科棟~第2体育館)

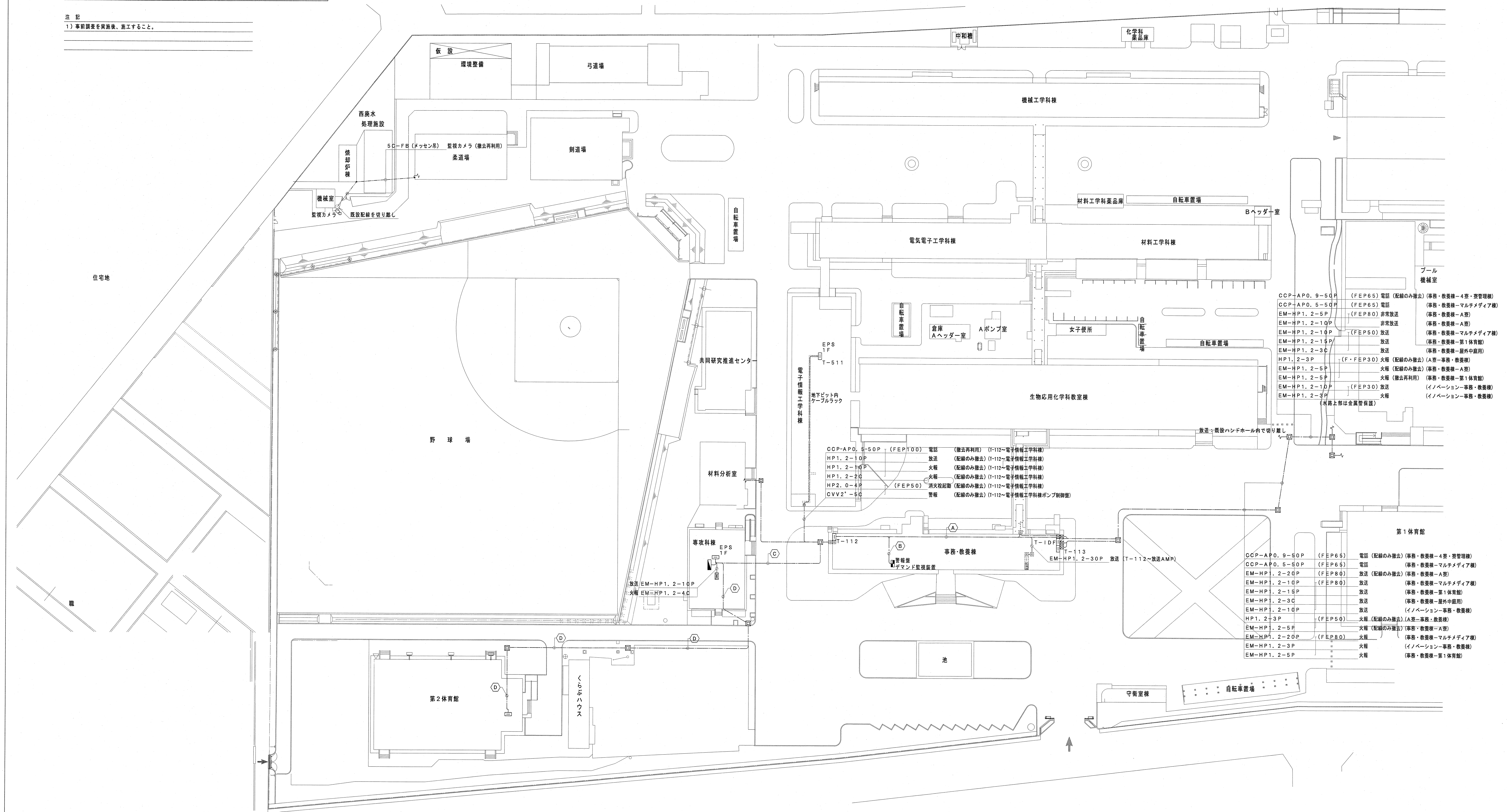
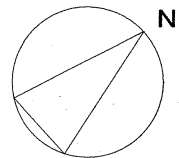


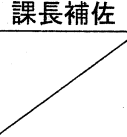
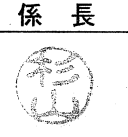
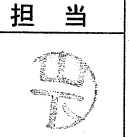
年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
							事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当	
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	構内通信線路（１）（改修後）	S= 1/500 (A1) S= 1/1000 (A3)	株式会社 ミューバートナズ 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	    	E-07

記 号	名 称	備 考
□	端子盤	
⊠	ハンドホール	
⊞	プルボックス	
-----	配 線 ・ 配 管	露出
-----	配 線 ・ 配 管	埋設

注 記
1) 事前調査を実施後、施工すること。

A)天井内ころし	EM-CCP-APO. 5-100P	電話 (T-112~T-IDF)
	EM-HP1. 2-30P	放送 (T-112~放送AMP)
	EM-HP1. 2-20P	火報 (T-112~T-113)
	EM-CPEEO. 9-5P	信号 (総合盤EVインターホン~E科棟)
B)天井内ころし	CVV-S2' -2C	警報 (1号館ポンプ警報盤~T-112)
	CVV2' -5C	警報 (1号館ポンプ警報盤~T-112)
	EM-CPEEO. 9-5P	信号 (総合盤EVインターホン~E科棟)
	EM-HP1. 2-5P	火報 (T-113~事務・教養棟副受信機)
C)	CCP-APO. 5-50P (FEP30)	電話 (事務・教養棟T-112~専攻科棟)
	HP1. 2-20P (FEP30)	放送 (事務・教養棟T-112~専攻科棟)
	HP1. 2-20P (FEP30)	火報 (配線のみ撤去) (事務・教養棟T-112~専攻科棟)
	CVV2' -2C (FEP30)	警報 (配線のみ撤去) (事務・教養棟T-112~専攻科棟)
	FP2' -4C (FEP30)	消火ポンプ起動 (配線のみ撤去) (事務・教養棟T-112~第2体育館)
D)	CCP-P0. 9-5P (CD-W30)	電話 (配線のみ撤去) (専攻科棟~第2体育館)
	CPEVO. 9-5P (CD-W30)	放送 (配線のみ撤去) (専攻科棟~第2体育館)
	HP1. 2-5P (CD-W30)	火報 (配線のみ撤去) (専攻科棟~第2体育館)
	FP1. 2-4C (CD-W30)	警報 (配線のみ撤去) (専攻科棟~第2体育館)
	EM-HP1. 2-3C (CD-W30)	警報 (専攻科棟~第2体育館)



年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	構内通信線路（1）（改修前）	S= 1/500 (A1) S= 1/1000 (A3)	株式会社 ミューバートナ 名古屋市中区新尾張3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当     	E-08

記 号	名 称	摘 要
	嫌子館	
	ハンドホール	
	ブルボックス	
-----	配 線 ・ 配 管	露出
-----	配 線 ・ 配 管	埋設

注 記

1) 図中の点線機器・器具は、既設を示す。

EM-CCP-AP0. 9-50P (FEP65)	電話 使退室2分入棟 (事務・教養棟~4寮)
EM-CCP-AP0. 9-20P (FEP50)	電話 使退室2分入棟 (4寮~教養棟)
EM-CCP-AP0. 5-20P	電話 使退室入棟 (イノベーション~4寮)

EM-CCP-APO. 5-20P	(FEP50)	通信系再入線	イノベーション4号
EM-CCP-APO. 9-20P		通信系再入線	4号-管理用機材
EM-HP1. 1-10P		通信系再入線	イノベーション事務、教授機材
EM-HP1. 1-23P		火線 通信系再入線	イノベーション事務、教授機材
EM-HP1. 1-25P	(FEP80)	非対応 通信系再入線	事務、教授機材-A系
EM-HP1. 1-10P	(FEP80)	非対応 通信系再入線	事務、教授機材-A系
EM-HP1. 1-25P	(FEP80)	火線 通信系再入線	事務、教授機材-A系
EM-HP1. 1-25P		火線 通信系再入線	4号-A系
EM-HP1. 1-25P		火線 通信系再入線	4号-A系
EM-HP1. 1-23P	(F・FEP30)	火線 通信系再入線	A系-事務、教授機材

EM-CCP-APO. 9-20P	(FE8P0)	電話	双路伝言機二入線	(4層一斉伝言機)
EM-CCP-APO. 9-20P		電話	双路伝言機二入線	(4層一斉伝言機)
EM-HP. 1-2-5P×2	(FE8P0)	非常放送	双路伝言機二入線	(警報・救難機、4層一斉)
EM-HP. 1-2-10P	(FE8P0)	非常放送	双路伝言機二入線	(4層一斉)
EM-HP. 1-2-10P		非常放送	双路伝言機二入線	(警報・救難機一入線)
EM-HP. 1-2-5P	(FE8P0)	火報	双路伝言機二入線	(4層一斉)
EM-HP. 1-2-3P		火報	双路伝言機二入線	(4層一斉)
EM-HP. 1-2-5P		火報	双路伝言機二入線	(警報・救難機一入線)
EM-HP. 1-2-3P	(F・FE8P0)	火報	双路伝言機二入線	(4層一斉機・救難機)
EM-S-7-C-7B	(FEV. TV)	TV	双路伝言機二入線	(4層一斉)
EM-CPE1. 2-3P	(FE8P0)	放送	双路伝言機二入線	(4層一斉機・警報機)

D			
EM-CCP-APO. 9-20P	(FE3P0)	電話	電話交換機二入線 (4第一-第四線路)
EM-CCP-APO. 9-20P		電話	電話交換機二入線 (4第一-第四線路)
EM-HP. 1-2-5P×2	(FE3P0)	非対称送	非対称送の相手方 (事務、機械機、4第一-第四線路)
EM-HP. 1-2-10P	(FE3P0)	非対称送	非対称送の相手方 (4第一-第四線路)
EM-HP. 1-2-10P		事務、機械機	事務、機械機二入線 (4第一-第四線路)
EM-HP. 1-2-5P	(FE3P0)	火報	電話交換機二入線 (4第一-第四線路)
EM-HP. 1-2-3P		火報	電話交換機二入線 (4第一-第四線路)
EM-HP. 1-2-5P		火報	電話交換機二入線 (事務、機械機二入線)
EM-HP. 1-2-3P	(F, FE3P0)	火報	電話交換機二入線 (4第一-第四線路、機械機線)
EM-S-7C-FB	(FE3P0, TV)	TV	電話交換機二入線 (4第一-第四線路)
EM-CPPE. 1-2-3P	(FE3P0)	放送	電話交換機二入線 (4第一-第四線路)

品名	仕様	単位	数量	納入先	納入先住所	納入先電話番号	納入先メールアドレス
EM-HP1-1-2-10P2x	(FE8P0)	非常発信	受信機のみ手回し	営業課第一号一室			
EM-HP1-1-2-3P		非常発信	受信機のみ手回し	内申倉庫一室 非常発信機室			
EM-S-5C-FBx2		非常発信	受信機のみ手回し	営業課第一号一室			
EM-S-7C-FB	(FE8P0)	TV	受信機のみ手回し	営業課第一号一室			
EM-HP1-1-2-6Px2		火報	受信機のみ手回し	営業課第一号一室			
EM-FCPEE1-S-1-3-P	(FE8P0)	警報トイ	受信機のみ手回し	営業課第一号二室			
EM-AE1-1-2-2C	(FE8P0)	トイ	受信機のみ手回し	営業課第一号一室			
EM-CPPE1-1-2-3P	(FE8P0)	放送	受信機のみ手回し	4号一室 非常発信機室			
AE1-1-2-3C		放送	受信機のみ手回し	放送一室 非常発信機室			

F

EM-CCP-AP0. 9-20P (FEP80) 電話 (現第2管)入線 (4寮~系管理棟)

EM-CCP-AP0. 9-20P 電話 (現第2管)入線 (4寮~系管理棟)

CCP-APO 6-10P		(FEP80)	電話	仮設のまの	(食堂-A)券
EM-HP1. 2-5P		(FEP80)	非常放送	仮設のまの	(食堂-A)券
AE1. 2-3C			放送	仮設のまの	(食堂-A)券(乗車券)
S-5C-FB			TV	仮設のまの	(食堂-A)券
EM-S-5C-FB×2			TV	仮設のまの	(食堂-A)券
HP1. 2-3P		(FEP30)	火報	仮設のまの	(食堂-A)券
EM-HP1. 2-5P			火報	仮設のまの	(食堂-A)券

H)	
EM-CPEE1: 2-3P	(FEP50) 放送 視聴調査への参加 (4第-実演番組)
EM-HP1: 2-6P×2	(FEP80) 非常災害 視聴者の主事 (事例-教養機-4第-1A第)
EM-HP1: 2-10P	(FEP80) 非常災害 視聴者の主事 (4第-1A第)
EM-HP1: 2-10P	非常災害 視聴者の主事 (事例-教養機-1A第)
EM-HP1: 2-5P	(FEP80) 火報 視聴調査への参加 (4第-1A第)
EM-HP1: 2-5P	火報 視聴調査への参加 (事例-教養機-1A第)
EM-HP1: 2-3P	(F・FEP30) 火報 視聴調査への参加 (4第-実演機-教養機)

EM-CP-AP.0. 9-80P (FEP65)	電話 (電話通話) 二人組	(事務、教養係一、四系、資料係)
EM-HP.1. 2-5P (FEP80)	非特約施設 (施設) の本部	(事務、教養係一、四系)
EM-HP.1. 2-10P	非特約施設 (施設) の本部	(事務、教養係一、四系)
EM-HP.1. 2-15P (FEP50)	施設 (施設) の本部	(事務、教養係一、四系)
EM-HP.1. 2-3C		
EM-HP.1. 2-3P (F・FEP30)	火災 (火災) 通話) 二人組	(A系一、事務、教養係)
EM-HP.1. 2-5P	火災 (火災) 通話) 二人組	(事務、教養係一、四系)
EM-HP.1. 2-5P	火災 (火災) 通話) 二人組	(事務、教養係一、四系)
EM-HP.1. 2-10P (FEP30)	施設 (施設) の本部	(インバケーション事務、教養係)
EM-HP.1. 2-3P	火災 (火災) 通話) 二人組	(インバケーション事務、教養係)

EM-CCP-AP0. 9-50P	(FEP 65)	電話 仮設電話2人組 (事務・教養係4名・労務管理科)
EM-HP1. 2-5P	┃ (FEP 80)	非常放送 (仮設の方針) (事務・教養係1人※)
EM-HP1. 2-10P		非常放送 (仮設の方針) (事務・教養係1人※)
EM-HP1. 2-3P	(F・FEP 3)	火報 仮設電話2人組 (A※・事務・教養係)
EM-HP1. 2-5P	┃	火報 仮設電話2人組 (事務・教養係1人※)
EM-HP1. 2-10P		放送 (仮設の方針) (ノベーション・事務・教養係)
EM-HP1. 2-3P	(FEP 30)	火報 (仮設の方針) (ノベーション・事務・教養係)

EM-HP1. 2-3P	(FEP30)	非常放送 (復旧のため)	(高峰会館・京浜臨港線)
EM-CCP-AP0. 5-20P	(FEP80)	電話 復旧再入線	(イノベーション〜4号)
EM-HP1. 2-10P	(FEP80)	放送 復旧再入線	(イノベーション〜車庫)
EM-HP1. 2-3P	(FEP50)	火報 復旧再入線	(イノベーション〜車庫)

EM-CCP-AP0.5-10P (FEP100)	電話 仮設のままだ	(A架～2架)
EM-GI-6C	情報 仮設のままだ	(常備管理棟～2架)
EM-S-7C-7B	TV 仮設のままだ	(A架～2架)
EM-HP1.2-2-5P	放送 仮設のままだ	(A架～2架)
EM-FCPEE-S-2-3P	集束ケーブル 仮設のままだ	(常備管理棟～2架)
EM-AE1.2-2-2C	トワイライト 仮設のままだ	(A架～2架)
EM-HP1.2-2-2C	火報 仮設のままだ	(A架～2架)
EM-S-7C-7B (FEP50)	TV 仮設設置～2人組	(常備管理棟～A架)
EM-HP1.2-2-10P (FEP50)	火報 仮設設置～2人組	(常備管理棟～A架)

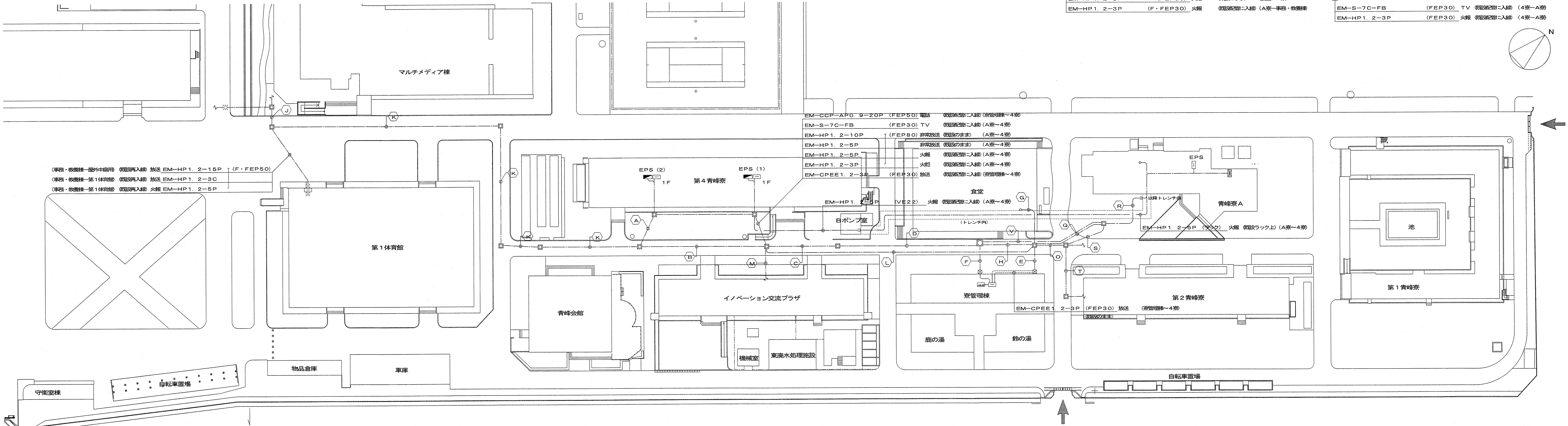
EM-CCP-Ap0. 5-10P (FEP100)	電話	両面取付人組	(A角×2角)
EM-S-7C-FB	TV	両面取付人組	(A角×2角)
EM-HP1. 2-5P	放送	両面取付人組	(A角×2角)
EM-AE1. 2-2C	トイ1層付	両面取付二人組	両面取付二人組
EM-AE1. 2-2C	トイ1層付	両面取付二人組	(A角×2角)
EM-HP1. 2-2C	火報	両面取付人組	(A角×2角)
EM-HP1. 2-5P×3	(FEP80) 非常放送	両面取付3ホキ	(事件・救難機、食堂、4層×1角)
EM-HP1. 2-10P	(FEP80) 非常放送	両面取付3ホキ	(4層×1角)
EM-HP1. 2-10P	(FEP80) 非常放送	両面取付3ホキ	(事件・救難機×1角)
EM-HP1. 2-10P×2	(FEP80) 非常放送	両面取付3ホキ	(両面取付二人組)
EM-S-5C-FB×2	(FEP80) 非常放送	両面取付3ホキ	(両面取付二人組)
EM-HP1. 2-5P	(FEP80) 火報	両面取付二人組	(4層×1角)
EM-HP1. 2-5P	火報	両面取付3ホキ	(事件・救難機×1角)
CCP-Ap0. 5-10P (FEP80)	電話	両面取付3ホキ	(両面×1角)
S-5C-FB	TV	両面取付3ホキ	(両面×1角)
EM-S-5C-FB×2	TV	両面取付3ホキ	(両面×1角)
HP1. 2-3P	(FEP50) 火報	両面取付3ホキ	(両面×1角)
EM-HP1. 2-5P	(FEP50) 火報	両面取付3ホキ	(両面×1角)
EM-HP1. 2-3P (F・FEP30)	火報	両面取付二人組	(A角×1事件・救難機)

EM-CCP-APO-5-10P↑(FEP100)	電話	放送局へ入線	(A案～2号)
EM-S-7C-FB	TV	放送局へ入線	(A案～2号)
EM-HP1-2-5P	放送	放送局へ入線	(A案～2号)
EM-AE1-2-2C	トイシ呼出	放送局へ入線	菅野信雄へA案
EM-AE1-2-2C	トイシ呼出	放送局へ入線	(A案～2号)
EM-HP1-2-2C			
EM-HP1-2-2C			
EM-HP1-2-5P×3 (FEP80)	非常放送	放送局へ入線	(事件・教養棟・倉庫、4案～A案)
EM-HP1-2-10P (FEP80)	非常放送	放送局へ入線	(4案～A案)
EM-HP1-2-10P (FEP80)	非常放送	放送局へ入線	(事件・教養棟へA案)
EM-HP1-2-10P×2 (FEP80)	非常放送	放送局へ入線	菅野信雄へA案
EM-S-5C-FB×2 (FEP80)	非常放送	放送局へ入線	菅野信雄へA案
EM-HP1-2-5P (FEP80)	火報	放送局へ入線	(4案～A案)
EM-HP1-2-5P			
EM-HP1-2-3P (FEP30)	火報	放送局へ入線	(事件・教養棟へA案)
EM-HP1-2-10P (FEP50)	火報	放送局へ入線	(4案～A案)
EM-HP1-2-10P (FEP50)	火報	放送局へ入線	菅野信雄へA案
CCP-APO-5-10P (FEP80)	電話	放送局へ入線	倉庫～A案
S-5C-FB	TV	放送局へ入線	倉庫～A案
EM-S-5C-FB×2	TV	放送局へ入線	倉庫～A案
S-7C-FB	TV	放送局へ入線	菅野信雄へA案
S-7C-FB (FEP30)	TV	放送局へ入線	(4案～A案)
HP1-2-3P (FEP50)	火報	放送局へ入線	倉庫～A案
EM-HP1-2-5P (FEP50)	火報	放送局へ入線	(4案～A案)
EM-HP1-2-3P (F・FEP30)	火報	放送局へ入線	(A案～事件・教養棟)

EM-S-7C-FB	(FEP50)	TV (現況) 2 人線	(奈管理棟~A 寮)
EM-HP1. 2-10P	(FEP50)	火報 (現況) 2 人線	(奈管理棟~A 寮)

EM-CCP-APO. 5-10P	(FEP50)	電話	便覧のまじり (A祭~2席)
EM-S-7C-FB	(FEP30)	TV	便覧のまじり (A祭~2席)
EM-HP1. 2-5P	(FEP30)	放送	便覧のまじり (A祭~2席)
EM-AE1. 2-2C	(FEP30)	テレビ呼出	便覧のまじり (A祭~2席)
EM-HP1. 2-2C	(FEP30)	トイレ	便覧のまじり (A祭~2席)
EM-FCEE-S1. 2-3P	(FEP30)	集客材料	便覧のまじり (A祭後席~2席)

V	EM-S-7C-FB	(FEP30)	TV 電報二入線 (4素-A亮)
	EM-HP1, 2-3P	(FEP30)	火報 電報二入線 (4素-A亮)



年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	構内通信線路（２）（改修後）	S= 1/500 (A1) S= 1/1000 (A3)	株式会社 ミューバートナイズ 名古屋市熱田区新尾郷3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当	E-09

記 号	名 称	摘 要
□	端子盤	
□	ハンドホール	
□	プルボックス	
.....	配 線 ・ 配 管	露出
——	配 線 ・ 配 管	埋設

注 記
1) 事前調査を実施後、施工すること。

A	CCP-APO. 9-50P	(FEP65)	電話 (伝送のみ撤去)	(事務・教養棟～4寮)
	CCP-APO. 9-20P	(FEP50)	電話 (伝送のみ撤去)	(4寮～寮管理棟)
	EM-CCP-APO. 5-20P		電話 (撤去予定)	(イノベーション～4寮)

②	EM-CCP-Ap0. 5-20P (FEP50)	電話	伝送のみ利用	(イノベーション～4号)
	CCP-Ap0. 9-20P	電話	伝送のみ放送	(4号～管理棟)
	EM-HP1. 2-10P	放送	伝送のみ利用	(イノベーション～事務・教養棟)
	EM-HP1. 2-3P	火報	伝送のみ放送	(イノベーション～事務・教養棟)
	EM-HP1. 2-5P (FEP80)	非常放送		(事務・教養棟～A号)
	EM-HP1. 2-10P (FEP80)	非常放送		(事務・教養棟～A号)
	EM-HP1. 2-5P (FEP80)	火報	伝送のみ放送	(事務・教養棟～A号)
	EM-HP1. 2-3P (FEP80)	火報	伝送のみ放送	(4号～A号)
	EM-HP1. 2-5P (FEP80)	火報	伝送のみ放送	(4号～A号)
	HP1. 2-3P (F・FEP30)	火報	伝送のみ放送	(A号～事務・教養棟)

③	CCP-Ap0. 9-20P	(FEP80)	電話 伝送のみ放送 (4室～管理棟)
	CCP-Ap0. 9-20P		電話 伝送のみ放送 (4室～管理棟)
	EM-HP1. 2-5P×2	(FEP80)	非常放送 (事務・教養棟、4室～A室)
	EM-HP1. 2-10P		非常放送 (4室～A室)
	EM-HP1. 2-10P		非常放送 (事務・教養棟～A室)
	EM-HP1. 2-5P	(FEP80)	火報 伝送のみ放送 (4室～A室)
	EM-HP1. 2-3P		火報 伝送のみ放送 (4室～A室)
	EM-HP1. 2-5P		火報 伝送のみ放送 (事務・教養棟～A室)
	HP1. 2-3P	(F・FEP30)	火報 伝送のみ放送 (A室～事務・教養棟)
	S-7C-FB	(FEP30)	TV 伝送のみ放送 (4室～A室)
	CPEV1. 2-3P	(FEP30)	放送 伝送のみ放送 (4室～管理棟)

④	CCP-Ap0. 9-20P	(FEP80)	電話 伝送のみ放送	(4室～管理棟)
	CCP-Ap0. 9-20P		電話 伝送のみ放送	(4室～管理棟)
	EM-HP1. 2-5P×2	(FEP80)	非常放送	(事務・教養棟、4室～A室)
	EM-HP1. 2-10P	(FEP80)	非常放送	(4室～A室)
	EM-HP1. 2-10P		非常放送	(事務・教養棟～A室)
	EM-HP1. 2-5P	(FEP80)	火報 伝送のみ放送	(4室～A室)
	EM-HP1. 2-3P		火報 伝送のみ放送	(4室～A室)
	EM-HP1. 2-5P		火報 伝送のみ放送	(事務・教養棟～A室)
	HP1. 2-3P	(F・FEP30)	火報 伝送のみ放送	(A室～事務・教養棟)
	S-7C-FB	(FEP30)	TV 伝送のみ放送	(4室～A室)
	CPEV1. 2-3P	(FEP30)	放送 伝送のみ放送	(4室～管理棟)

⑤	EM-HP1. 2-10P×2 (FEP80)	非常放送区	〈管理棟～A室〉
EM-HP1. 2-3P	}	非常放送区	〈管理棟～A室〉
EM-S-5C-FB×2		非常放送区	〈管理棟～A室〉
S-7C-FB	(FEP80)	TV (伝送のみ放送区)	〈管理棟～A室〉
EM-HP1. 2-5P×2	}	火報	〈伝送のみ放送区〉
EM-FCPEE-S1. 2-3P (FEP30)		集計機計	〈管理棟～2室〉
EM-AE1. 2-2C (FEP30)	}	トイレ呼出 (伝送のみ放送区)	〈管理棟～A室〉
CPEV1. 2-3P (FEP50)		放送	〈4階～管理棟〉
AE1. 2-3C		放送	〈4階～管理棟〉

F	CCP-AP0. 9-20P	(FEP80)	電話 (伝送のみ放送) (4室～管理棟)
	CCP-AP0. 9-20P		電話 (伝送のみ放送) (4室～管理棟)

⑦	CCP-Ap0. 5-10P (FEP80) 電話 (食室-A席)
EM-HP1. 2-5P (FEP80) 非常放送 (食室-A席)	
AE1. 2-3C 放送 (食室-管理棟)	
S-5C-FB TV (食室-A席)	
EM-S-5C-FB×2 TV (食室-A席)	
HP1. 2-3P (FEP30) 火報 (食室-A席)	
EM-HP1. 2-5P 火報 (食室-A席)	

⑧	CPEV1. 2-3P (FEP50) 放送 伝送のみ放送 (4寮-宗信管理棟)
EM-HP1. 2-5P×2 (FEP80) 非常放送 (事務・教養棟、4寮-A寮)	
EM-HP1. 2-10P (FEP80) 非常放送 (4寮-A寮)	
EM-HP1. 2-10P 非常放送 (事務・教養棟-A寮)	
EM-HP1. 2-5P (FEP80) 火報 伝送のみ放送 (4寮-A寮)	
EM-HP1. 2-5P 火報 伝送のみ放送 (事務・教養棟-A寮)	
HP1. 2-3P (F・FEP30) 火報 伝送のみ放送 (A寮-事務・教養棟)	

⑨	CCP-Ap0. 9-50P (FEP65)	電話 伝送のみ放送	(事務・教養棟～4室・管理棟)
EM-HP1. 2-5P (FEP80)	非常放送	(事務・教養棟～A室)	
EM-HP1. 2-10P	非常放送	(事務・教養棟～A室)	
EM-HP1. 2-15P (FEP50)	放送	(事務・教養棟～第1体育館)	
EM-HP1. 2-3C	放送	(事務・教養棟～第1体育館)	
HP1. 2-3P (F・FEP30)	火報 伝送のみ放送	(A室～事務・教養棟)	
EM-HP1. 2-5P	火報 伝送のみ放送	(事務・教養棟～A室)	
EM-HP1. 2-5P	火報 伝送のみ放送	(事務・教養棟～第1体育館)	
EM-HP1. 2-10P (FEP30)	放送	(イノベーション～事務・教養棟)	
EM-HP1. 2-3P	火報	(イノベーション～事務・教養棟)	

⑩	CCP-Ap0. 9-50P (FEP65) 電話 伝送のみ放送 (事務・教養棟～4室・宗務)
EM-HP1. 2-5P (FEP80) 非常放送 (事務・教養棟～A室)	
EM-HP1. 2-10P 非常放送 (事務・教養棟～A室)	
HP1. 2-3P (F・FEP30) 火報 伝送のみ放送 (A室～事務・教養棟)	
EM-HP1. 2-5P 火報 伝送のみ放送 (事務・教養棟～A室)	
EM-HP1. 2-10P (FEP30) 放送 (イノベーション～事務・教養棟)	
EM-HP1. 2-3P 火報 (イノベーション～事務・教養棟)	

⑪	EM-HP1. 2-3P (FEP30) 非常放送 (青峰会館～管理棟)
---	--------------------------------------

⑫	EM-CCP-APO. 5-10P (FEP100)	電話	(A第2-2階)
EM-G1-6C		情報	(第2階)第2-2階
EM-S-7C-FB		テレビ	(第2階)第2-2階
EM-HP1. 2-5P		放送	(A第2-2階)
EM-FCPEE-S1. 2-3P		録音機針計	(第2階)第2-2階
EM-AE1. 2-2C		トイレ引出	(A第2-2階)
EM-HP1. 2-2C		火報	(第2階)第2-2階
S-7C-FB	(FEP50)	TV	① 第2階(カ)第2階 ② 第2階(カ)第2階
EM-HP1. 2-10P	(FEP50)	放送	① 第2階(カ)第2階 ② 第2階(カ)第2階

⑬	EM-CCP-APO. 5-10P (FEP100)	電話	伝送再呼出	(A室～2室)
	EM-S-7C-FB	TV	伝送再呼出	(A室～2室)
	EM-HP1. 2-5P	放送	伝送再呼出	(A室～2室)
	EM-AE1. 2-2C	トイレ呼出 (配膳台) 放送	伝送再呼出	(A室～2室)
	EM-AE1. 2-2C	トイレ呼出	伝送再呼出	(A室～2室)
	EM-HP1. 2-2C	火報	伝送再呼出	(A室～2室)
	EM-HP1. 2-5P×3 (FEP80)	非常放送	傳呼・教養棟、食堂、	
	EM-HP1. 2-10P (FEP80)	非常放送	4室～A室	
	EM-HP1. 2-10P (FEP80)	非常放送	傳呼・教養棟～A室	

EM-HP1. 2-5P	}	(FEP80)	火報	伝送のみ放送	(A室～A室)
EM-HP1. 2-5P		火報	伝送のみ放送	(事務・教養棟～A室)	
CCP-Ap0. 5-10P		(FEP80)	電話		(食堂～A室)
S-5C-FB	}	(FEP50)	TV		(食堂～A室)
EM-S-5C-FB×2		TV			(食堂～A室)
HP1. 2-3P		(FEP50)	火報		(食堂～A室)
EM-HP1. 2-5P		(FEP50)	火報		(食堂～A室)
HP1. 2-3P		(F・FEP30)	火報	伝送のみ放送	(A室～事務・教養棟)

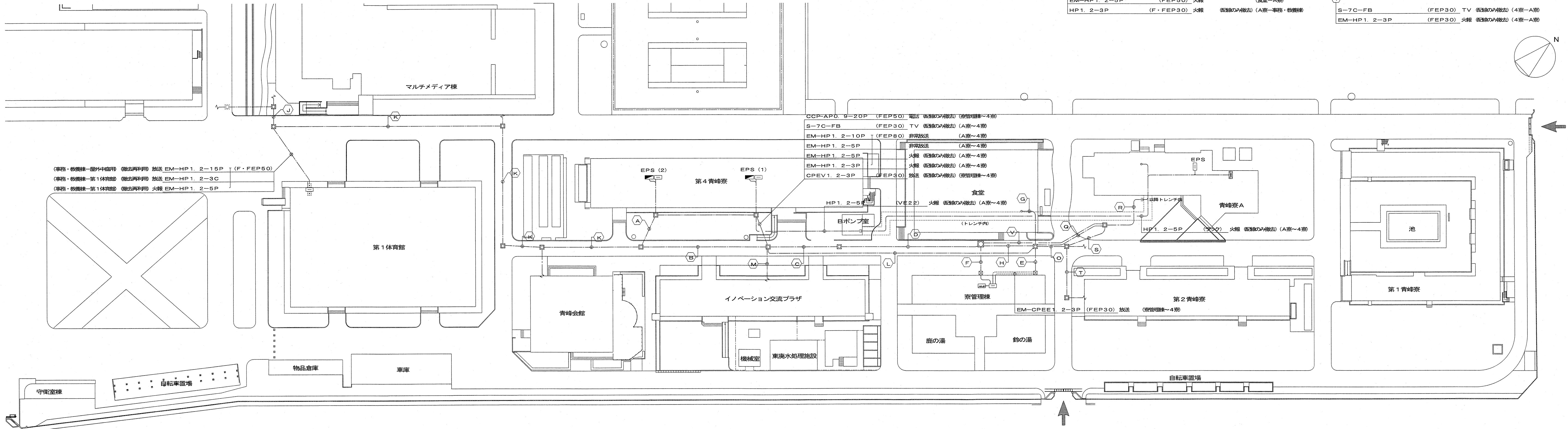
⑮	EM-CCP-AP0. 5-10P (FEP100)	電話	伝送のみ利用	(A室～2室)
	EM-S-7C-FB	TV	伝送のみ利用	(A室～2室)
	EM-HP1. 2-5P	放送	伝送のみ利用	(A室～2室)
	EM-AE1. 2-2C	トイレ呼出 (常駐のみ放送)	常駐利用棟～A室	
	EM-AE1. 2-2C	トイレ呼出 (常駐のみ放送)	(A室～2室)	
	EM-HP1. 2-2C	火報	伝送のみ利用	(A室～2室)
	EM-HP1. 2-5P×3 (FEP80)	非常放送		(事務・教養棟、食堂、4室～A室)

EM-HP1. 2-10P×2	(FEP80) 非常放送	伝送のみ放送
EM-S-5C-FB×2	(FEP80) 非常放送	伝送のみ放送
EM-HP1. 2-5P	}	(FEP80) 火報
EM-HP1. 2-5P		
EM-HP1. 2-3P	}	(FEP30) 火報
EM-HP1. 2-3P		
EM-HP1. 2-10P	(FEP50) 火報	伝送のみ放送
CCP-Ap0. 5-10P	(FEP80) 電話	伝送のみ放送
S-5C-FB	}	(FEP50) TV
EM-S-5C-FB×2		
S-7C-FB	}	(FEP30) TV
S-7C-FB		
HP1. 2-3P	(FEP50) 火報	伝送のみ放送
EM-HP1. 2-5P	(FEP50) 火報	伝送のみ放送
HP1. 2-3P	(F・FEP30) 火報	伝送のみ放送 (A室・事務・教養棟)

⑰	S-7C-FB	(FEP50)	TV	(伝送のみ放送)	(管理棟～A室)
	HP1. 2-10P	(FEP50)	火報	(伝送のみ放送)	(管理棟～A室)

⑰	EM-CCP-AP0. 5-10P (FEP50) 電話 (A室～2室)
EM-S-7C-FB (FEP30) TV (A室～2室)	
EM-HP1. 2-5P (FEP30) 放送 (A室～2室)	
EM-AE1. 2-2C (FEP30) トイレ呼出 (A室～2室)	
EM-HP1. 2-2C (FEP30) 火報 (A室～2室)	
EM-FCPEE-S1. 2-3P (FEP30) 集計機計 (管理棟～2室)	

①	S-7C-FB	(FEP30)	TV (伝送のみ放送) (4室-A室)
	FM-HP1. 2-3P	(FEP30)	火報 (伝送のみ放送) (4室-A室)



年 度	設 計 年 月	設 計 業 務 名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建 築 士 法 第 20 条 第 1 項 に 基 づ く 表 示	独 立 行 政 法 人 国 立 高 等 専 門 学 校 機 構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	図 面 番 号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	構内通信線路（2）（改修前）	S= 1/500 (A1) S= 1/1000 (A3)	株 式 会 社 ミ ュ ー バ ー ト 名古屋市中区新栄3丁目2-1 TEL 052-684-9846 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 福田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当	E-10

記 号	名 称	摘 要
	動力操作盤	
	蛍光灯 (天井付)	
	蛍光灯 (壁付)	
	タンブラスイッチ	1P15A×1
	レベルスイッチ	機械工事
	コンセント	2P15A×1
	モーター	機械工事
	換気扇	機械工事
	ハンドホール	H:900×900×900
	中継ボックス	OB又はCB
	プルボックス	サイズは、傍記による。
	配線	コログシ
	配線・配管	いんべい
	配線・配管	露出
	配線・配管	床いんべい (ビット内含む)
	配線・配管	埋設
	配 線 ・ 配 管	立下り・素通し・立上り

注 記	
1) 特記なき配管・配線は下記による。	
	1V1. 6×2 (19)
	1V1. 6×3 (19)
	1V1. 6×4 (25)
	配管の撤去を示す。
	配線の撤去を示す。
2) プルボックスサイズは下記による。(W付はSUS製防水型を示す)	
	150×150×75
	200×200×100

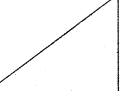
A	CV2' -2C	(H128)
	断りケーブル	(H128)
	CVV2' -4C×2	(H136)
	CVV2' -4C	(H136)
	CVV2' -2C	
	CVV2' -3C	
	CV3. 5' -4C×4	(H154)
	CV3. 5' -4C×4	(H154)
	CV2' -4C×2	(H136)

B	CV2' -2C	(H128)
	断りケーブル	(H128)
	CVV2' -4C	(H136)
	CVV2' -2C	
	CV3. 5' -4C×2	(H136)
	CV2' -4C	(H154)
	CV3. 5' -4C×2	

機械室		
A	直付形FL4.0W×1	2
B	直付形FL2.0W×1	1
C	ブラケットFL2.0W×1	1

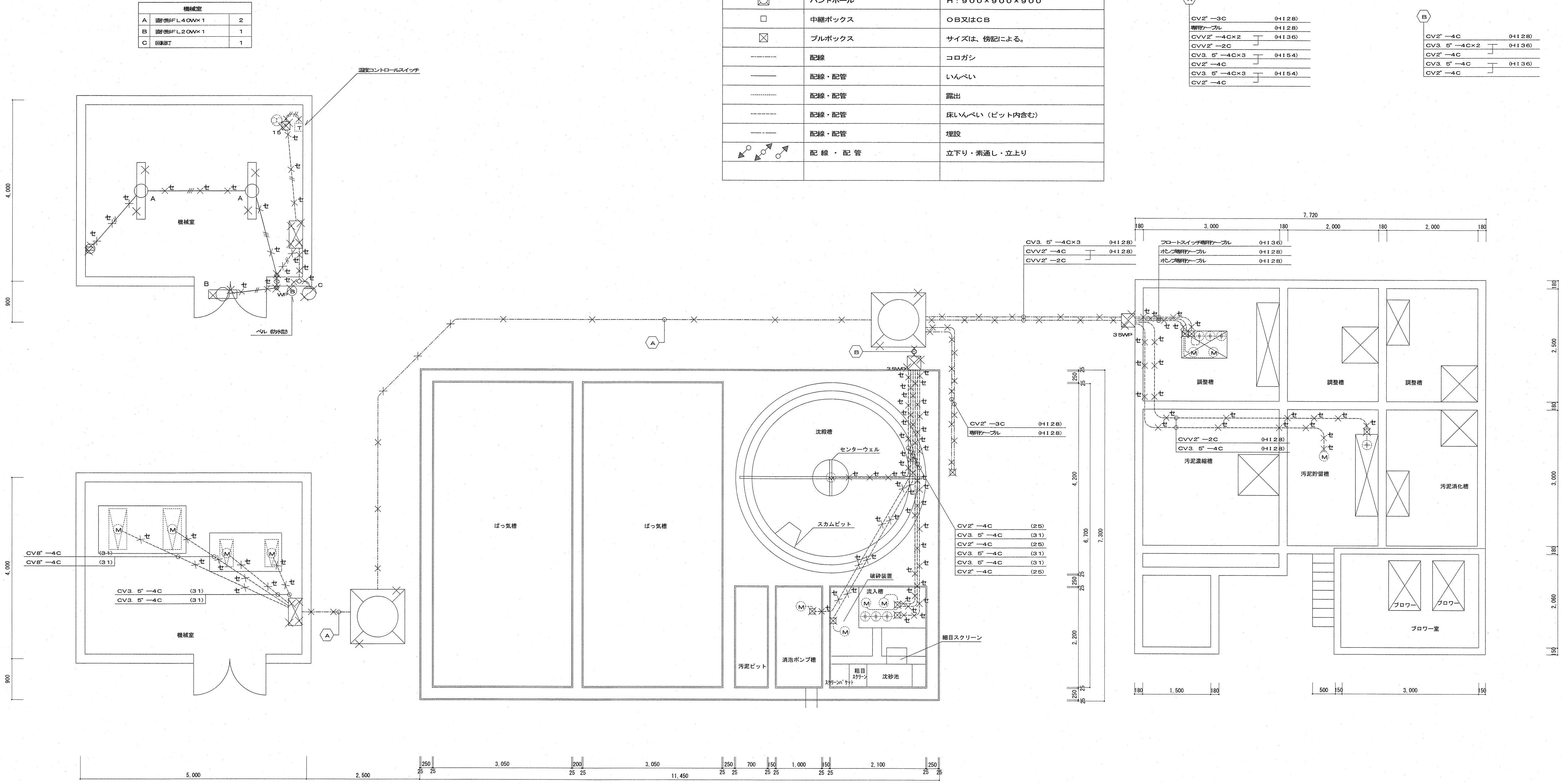
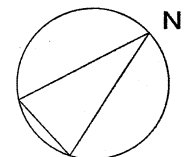
焼却炉棟		
A	直付形FL4.0W×1	7

平面図 1:50

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	排水処理施設（西） 平面図	S=1/ 50(A1) S=1/100(A3)	株式会社 ミューパートナーズ 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 横田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係長 担当     	E-11

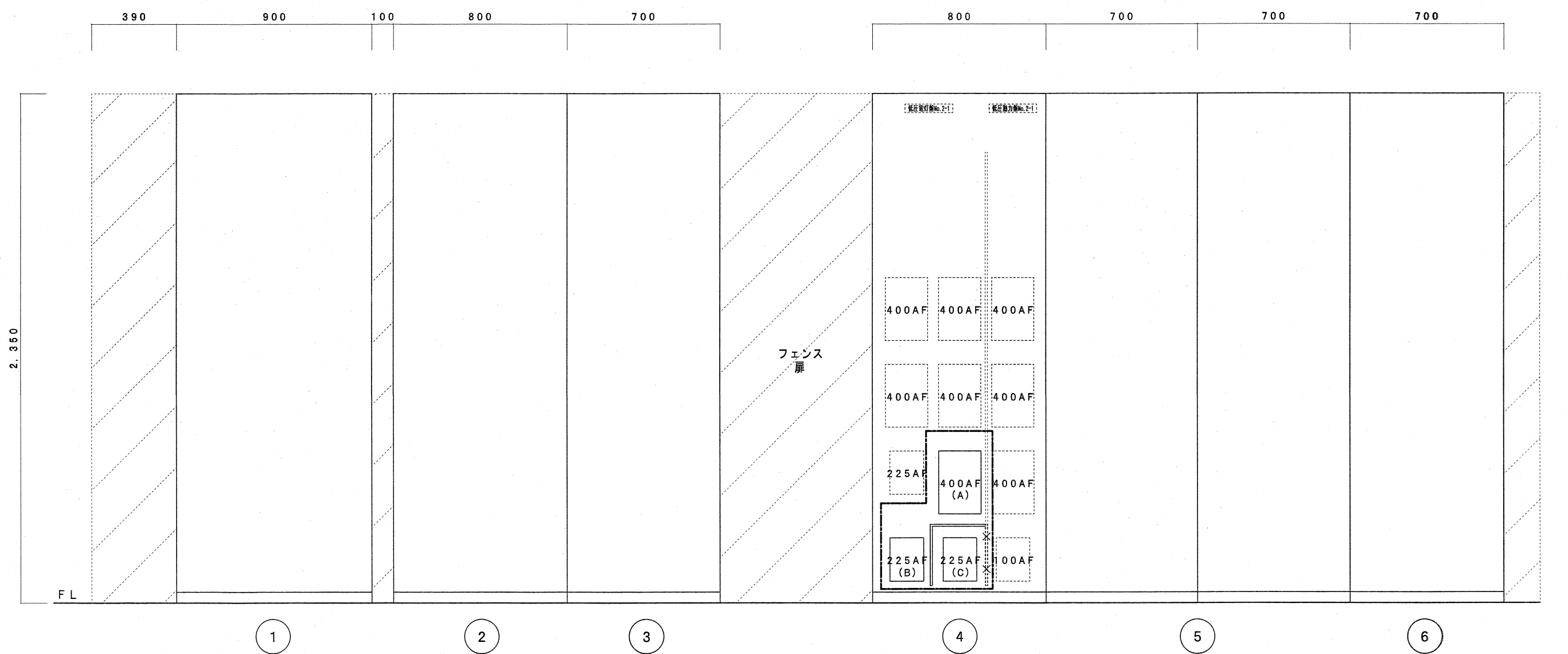
記 号	名 称	摘 要
	動力操作盤	
	蛍光灯 (天井付)	
	蛍光灯 (壁付)	
	タンブラスイッチ WP付きは防水型	1P15A×1
	レベルスイッチ	機械工事
	コンセント	2P15A×1
	モーター	機械工事
	換気扇	機械工事
	ハンドホール	H:900×900×900
	中継ボックス	OB又はCB
	プルボックス	サイズは、傍記による。
	配線	コロガシ
	配線・配管	いんべい
	配線・配管	露出
	配線・配管	床いんべい (ビット内含む)
	配線・配管	埋設
	配 線 ・ 配 管	立下り・索通し・立上り

注 記
1) 特記なき配管・配線は下記による。
—— ⅠV1. 6×2 (19)
—— ⅠV1. 6×3 (19)
—— ⅠV1. 6×4 (25)
××× 配管前記撤去を示す。
××× 配線前記撤去を示す。
2) プルボックスサイズは下記による。(W付はSUS製防水型を示す)
15・・・150×150×75
35・・・350×450×150



平面図 1:50

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	排水処理施設（東） 平面図	S=1/ 50(A1) S=1/100(A3)	株 式 会 社 ミ ュ ー パ ー ト ナ ー ス 名古屋市中村区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 稲田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当	E-12



低圧配電盤姿図（参考図）

記 号	壁 名 称
①	高圧受電盤
②	低圧電灯盤 No. 2
③	低圧電灯盤
④	低圧電灯盤 No. 2-1 (改修) 低圧動力盤 No. 2-1
⑤	低圧動力盤 No. 2
⑥	低圧動力盤

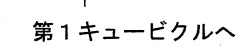
既設：中立電機

既設：中立電機

(改修内容)

- ・低圧電灯盤No. 2-1に開閉器を増設する。
- | |
|-----------------------|
| (A) MCCB3P400AF/300AT |
| (B) MCCB3P225AF/125AT |
| (C) MCCB3P225AF/225AT |
- ・電灯・動力仕切り線を移設する。

※ 1 : 既設開



機電工程學士學位	2.50*	MCC8P 400AF/400AT
P-1 材料科學(機械)	116.8	EM-CET200*
P-2 材料科學(電)	188.0	MCC8P 400AF/350AT
P-3 材料科學(材料科學)	7.74	EM-CET160*
P-4 材料科學(材料科學)	88.6	MCC8P 100AF/100AT
P-5 材料科學(材料科學)	88.6	EM-CET100*
P-6 材料科學(材料科學)	225AF/222AT	MCC8P 225AF/222AT

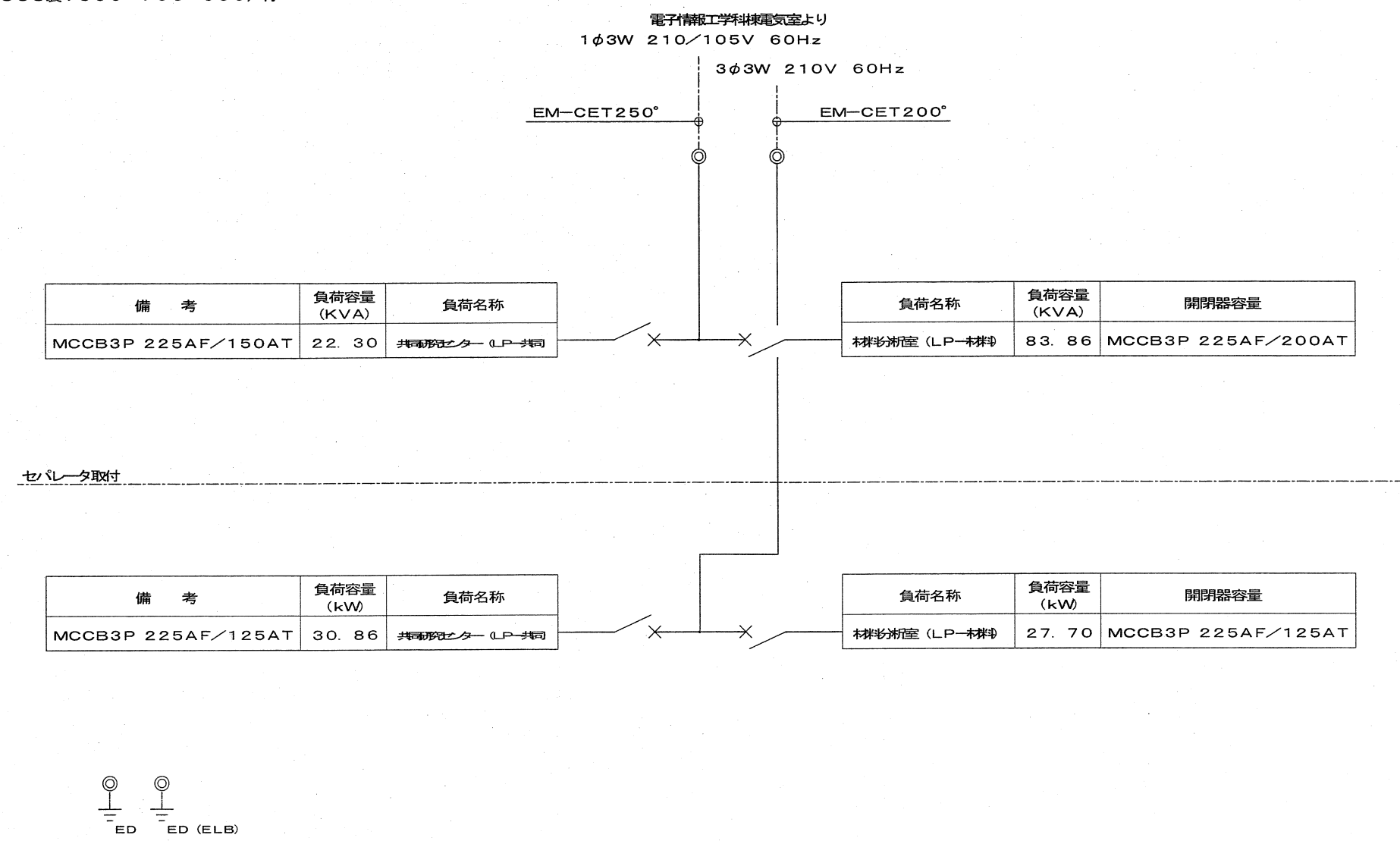
記 号	名 称	記 号	名 称
C H	ケーブルヘッド		通電圧継電器
D S	断 路 器		不足電圧継電器
S O G	保護継電器装置		過電圧継電器
V C T	電力系統用取次器		地絡過電圧継電器
V T	計器用変圧器		地絡方向継電器
L A	避雷器		地絡過電圧継電器
D G R	地絡方向継電器		
P C	高圧カットアウト		
T R	配電用変圧器 (油入・トッパンナー) (ダイヤル温度計)		熱動継電器
V T	計器用変圧器		電 圧 計 (広角)
C T	計器用変流器		電 流 計 (広角)
Z C T	零相変流器		電 流 計 (広角)
L B S	ヒューズ付負荷開閉器		電 力 計 (広角)
P F	電力ヒューズ		最大需要電流計 (広角)
M C C B	配線用遮断器		周 波 数 計
E L C B	漏電遮断器		電力量計 (検定品)
V S	電圧計切替スイッチ		表面型 (電子式コンパクト型)
A S	電流計切替スイッチ		無効電力計
V T T	試験用電圧端子		
C T T	試験用電流端子		
T H R	熱動継電器	▲	故障表示
G R y	地絡継電器	■	状態表示
		●	遠方計測表示

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	電子情報工学科棟 受変電設備 単線経線図（改修後）	S= N・S (A1) S= N・S (A3)	株 式 会 社 ミ ュ ー パ ー ト ナ ー ズ 名古屋市中熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9846 一級建築士 第 242551 号 楠田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当     	E-13

新設

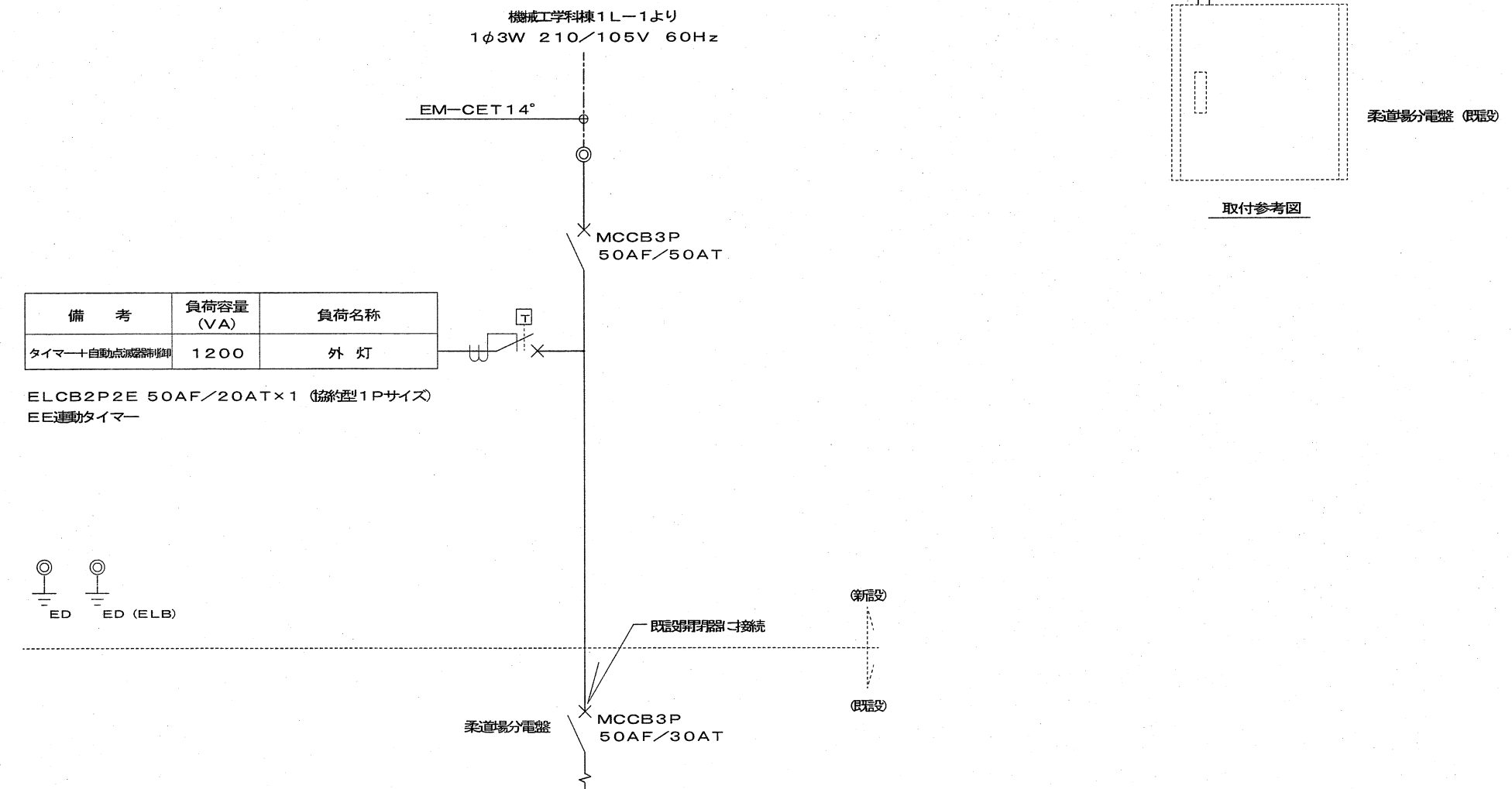
(新設) 共同研究センター外壁		
壁 名 称		分岐開閉器壁
キャビネット形式		自立形 (SUS製)
電 気 方 式	種 別	常用回路
	相 数	1φ3W/3φ3W
	電 圧	210-105V/210V

下部配線ダクト (SUS製: 300×700×350) 付

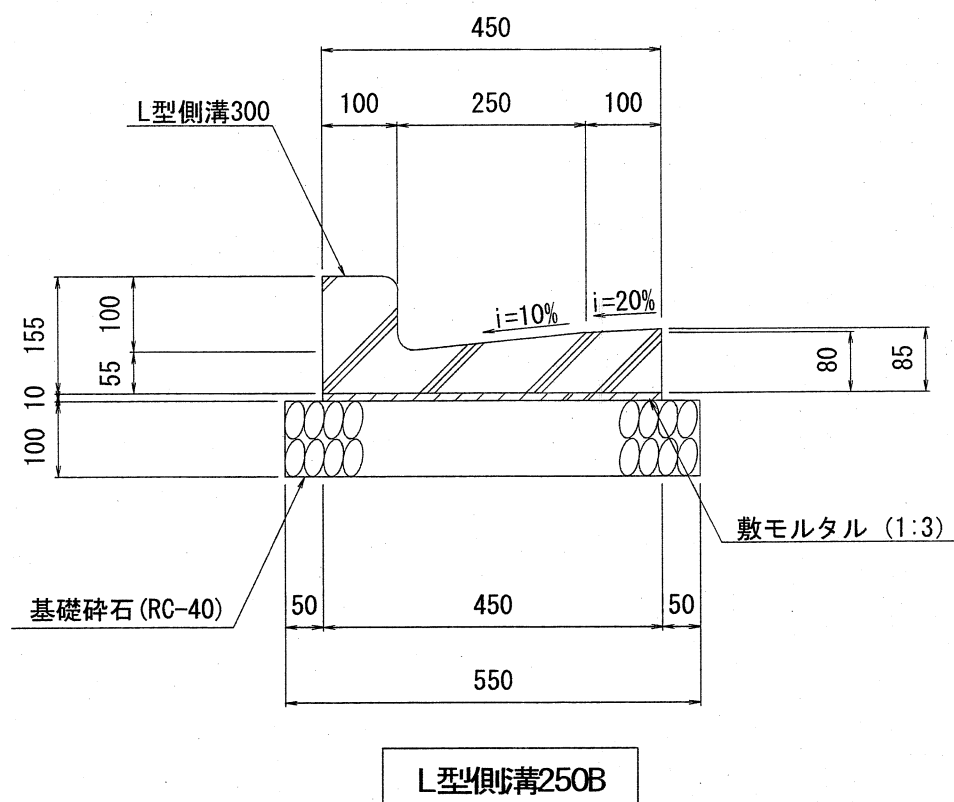


新設

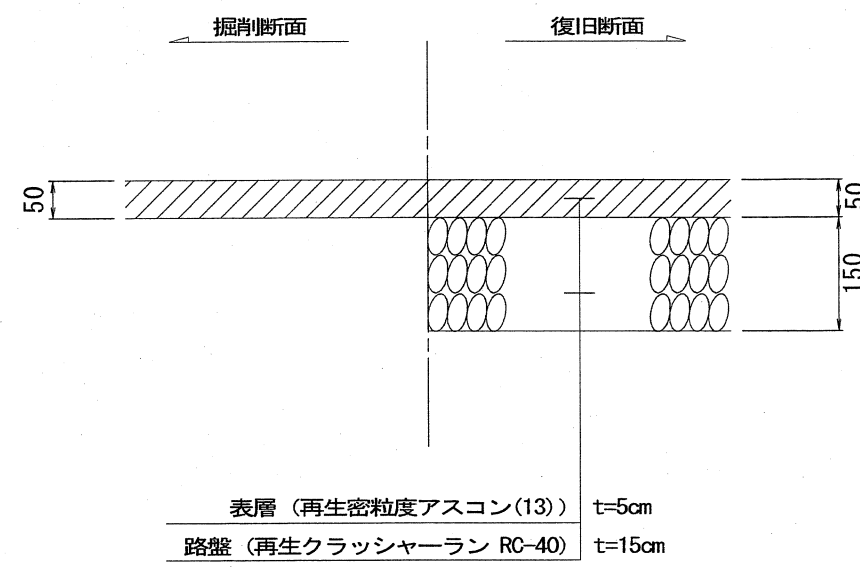
(新設) 柔道場		
壁 名 称		外灯分電壁
キャビネット形式		壁掛 (露出) 形
電 気 方 式	種 別	常用回路
	相 数	1φ3W
	電 圧	210-105V



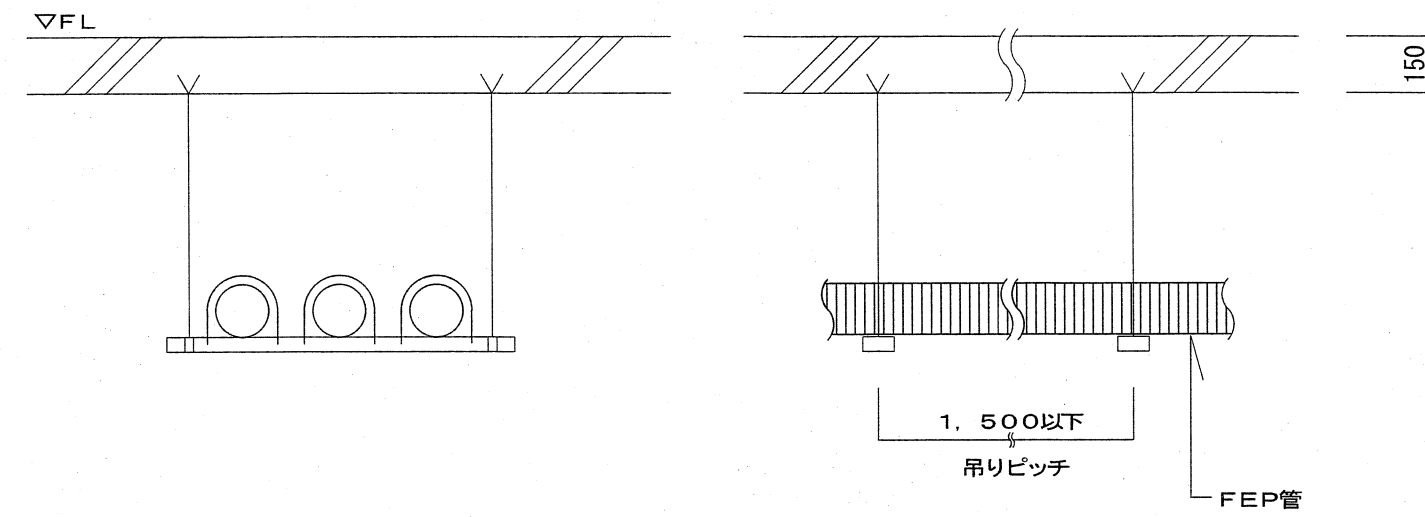
L型側溝 (参考図)



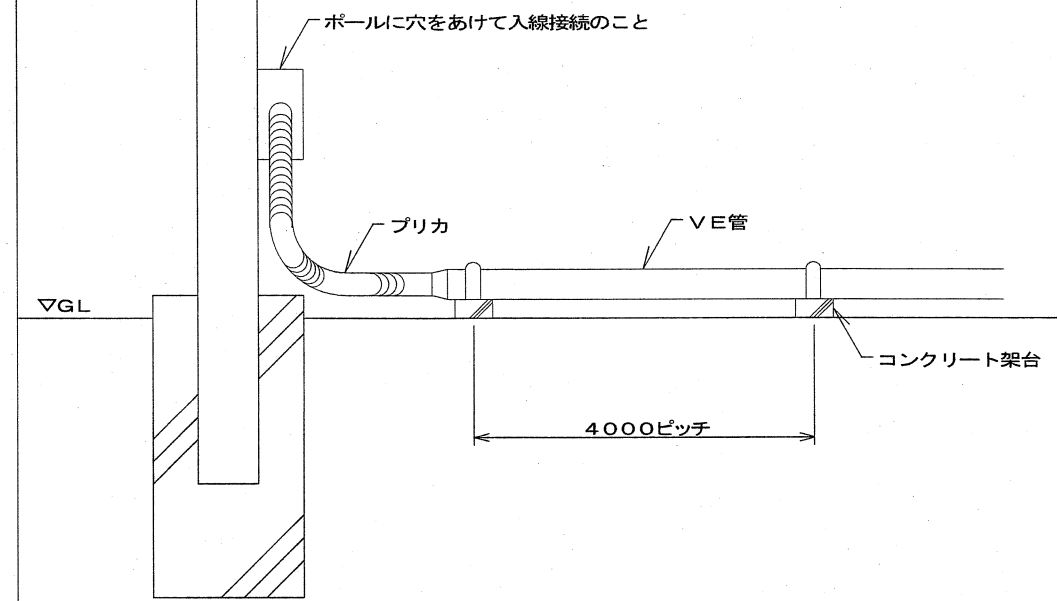
アスファルト舗装 (参考図)



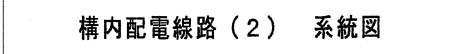
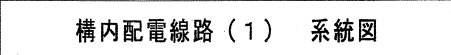
共同研究センターピット内配管取付（参考図）



外灯施工例 (参考図)



年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
							事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当	
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	（新設）分電盤図・取付等参考図	S= N・S (A1) S= N・S (A3)	株式会社 ミューバートナズ 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	    	E-14



注 記

1) 特記なき配管・配線は下図による。

----- 既設のまま

----- ケール更新

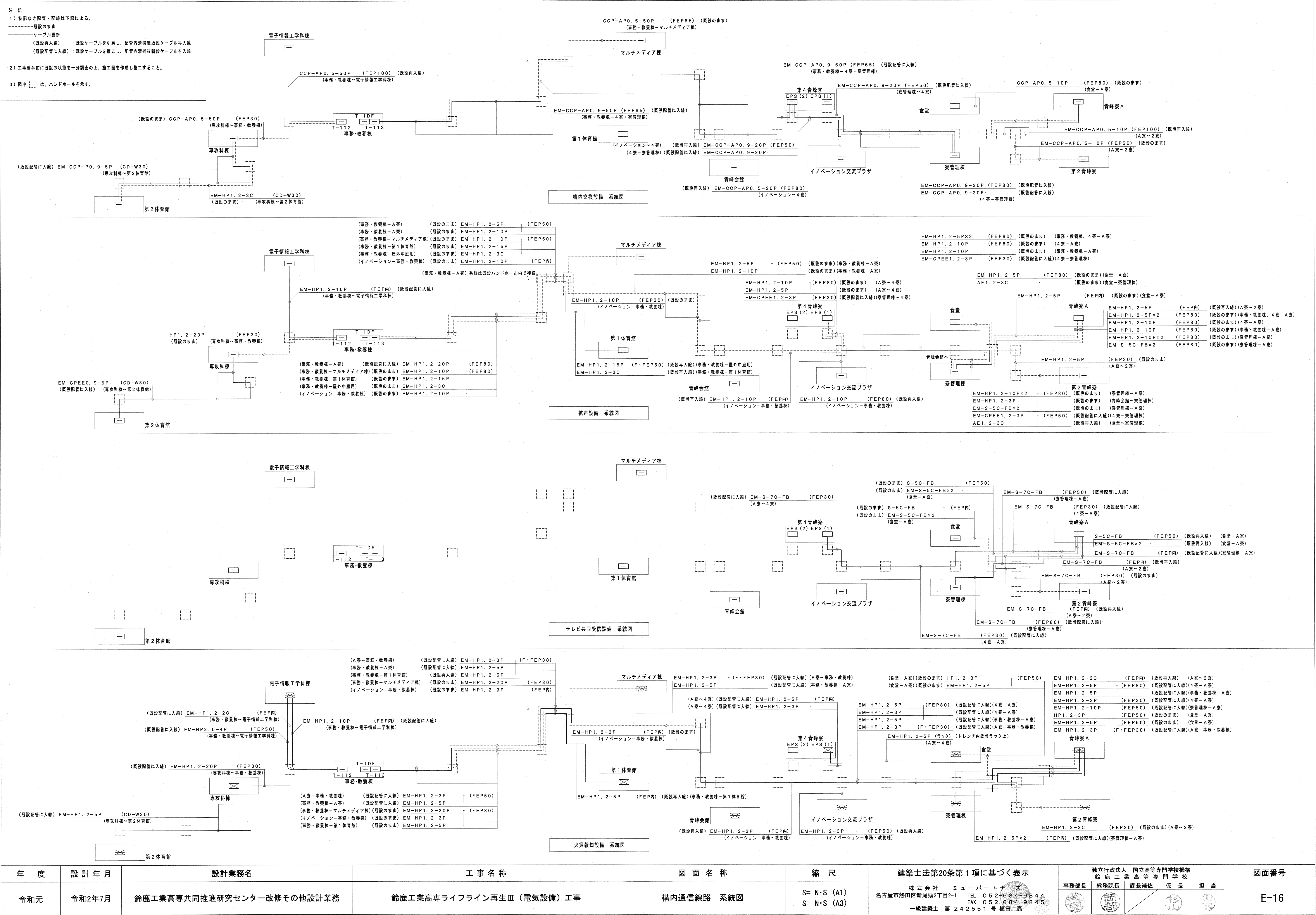
(既設再入線) : 既設ケーブルを引直し、配管内清掃後既設ケーブル再入線

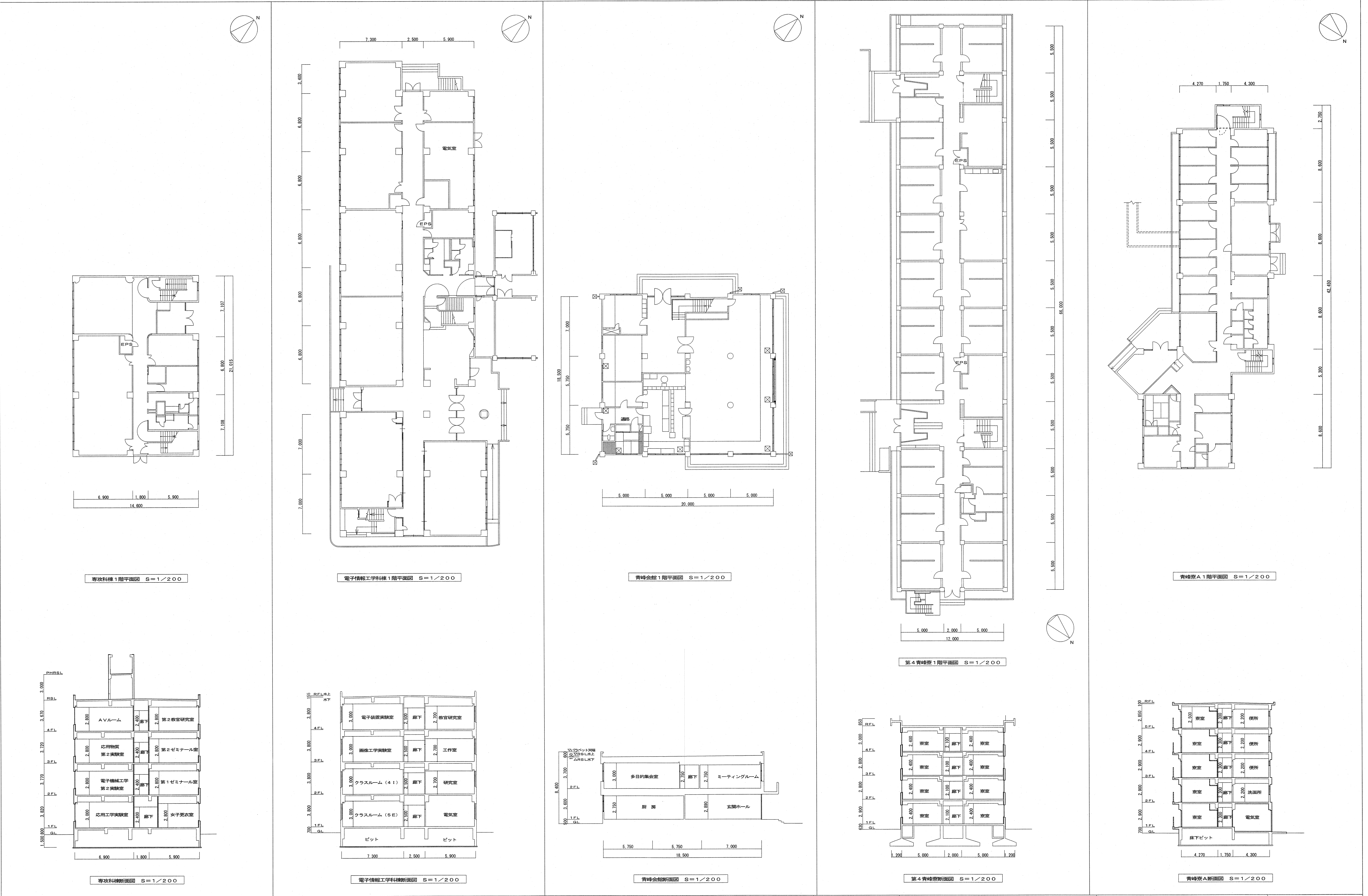
(既設配管に入線) : 既設ケーブルを撤去し、配管内清掃後新設ケーブルを入線

2) 工事着手前に既設の状態を十分調査の上、施工図を作成し施工すること。

3) 図中 □ は、ハンドホールを示す。

年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校				図面番号	
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	構内配電線路 系統図	S=N・S (A1) S=N・S (A3)	株式会社 ミューバートナイズ 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長	総務課長	課長補佐	係 長	担 当	E-15
												





年 度	設 計 年 月	設計業務名	工 事 名 称	図 面 名 称	縮 尺	建築士法第20条第1項に基づく表示	独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校	図面番号
令和元	令和2年7月	鈴鹿工業高専共同推進研究センター改修その他設計業務	鈴鹿工業高専ライフライン再生Ⅲ（電気設備）工事	各棟平面図・断面図	S= 1/200 (A1) S= 1/400 (A3)	株式会社 ミューバートテクノス 名古屋市熱田区新尾頭3丁目2-1 TEL 052-684-9844 FAX 052-684-9845 一級建築士 第242551号 植田 亮	事務部長 総務課長 課長補佐 係 長 担 当	E-17